

平成12年度 家庭教育充実事業

4・5歳児をもつ父親・母親の養育態  
度・意識の実態調査に関するまとめ

福岡県立社会教育総合センター

## はじめに

本年度、福岡県における家庭教育充実事業の一環として、調査研究部会において「平成12年度幼児（3・4・5歳）をもつ保護者のしつけに関するアンケート」調査を、県内40幼稚・保育園（所）の保護者約3,600名を対象として実施いたしました。

この調査は、平成7年度に実施したアンケート調査を基本に据え、調査対象幼稚園・保育園（所）を地域的な観点から2園増やすとともに、「テレビ視聴時間」や「習い事」等10項目の設問を新たに付加して調査を行いました。

アンケート結果から得られた保護者の「子育て」に関する実態（4歳児及び5歳児）を、前回調査と比較検討しながら分析を行い、今回、あわせて約530名の保護者を対象に実施した「乳幼児（0・1・2歳）をもつ保護者のしつけに関するアンケート」調査の結果とともに、乳児期から幼児期における保護者の養育態度・意識の新しい傾向は、今後の家庭教育の在り方に関する基礎資料となるものです。

本報告書を関係機関・団体において家庭教育関係事業等の参考資料として活用いただければ幸いです。

おわりに、本事業の推進にあたりご尽力いただきました、調査研究部会の委員の諸先生方をはじめ、アンケートにご協力いただきました幼稚園及び保育園（所）の方々に心から感謝申し上げます。

平成13年3月

福岡県立社会教育総合センター

所長 瓜生浩平

# も く じ

## 第1章 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 分析の基本視点	4

## 第2章 親の養育態度

1. 基本的な生活習慣	5
(1) 起床	5
(2) 洗顔や歯磨き	5
(3) 幼稚園・保育園に出かける用意	6
(4) 遊んだあとの片づけ	6
(5) テレビの視聴時間	7
2. 言葉のしつけ	7
(1) 基本的な挨拶	7
(2) 言葉の乱れ	8
3. まとめ	8

## 第3章 親子の交流

1. 子どもの認知	10
(1) 手伝い	10
(2) 友の認知	10
(3) ほめる	11
(4) 強要	11
2. 子どもの受容	12
(1) ふれあいの時間	12
(2) 対話	12
(3) 叱る	13
(4) スキンシップ	13
(5) 子ども同士の交流	14
(6) 楽しい子育て	14
3. まとめ	15

## 第4章 親の養育意識

1. 養育の目標	16
(1) 他児との比較	16

(2) 男女の区別 .....	16
(3) 育てる上での重点 .....	17
(4) 習い事 .....	17
2. 自己評価 .....	18
(1) しつけの自信 .....	18
(2) しつけの甘さ .....	18
(3) 叱り方 .....	19
3. 養育の悩み .....	19
(1) 養育の不安 .....	20
(2) 不安の解消法 .....	20
(3) 虐待 .....	21
(4) 孤立 .....	21
4. まとめ .....	22
第5章 結論と今後の課題 .....	23
資料編	
「平成12年度幼児をもつ保護者のしつけに関するアンケート調査実施要項」 .....	29
「データ集」 .....	45

## ◆第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

子どもに対する保護者の養育態度・意識は、子どもの意欲や自主性・耐性などの健全な発達に大きく関係しているといわれる。

このような観点から、保護者が具体的な生活の場面で子どもにどのように関わっているのか、その実態を明らかにしていくことは、今後の家庭教育の在り方を探求していくうえで極めて重要な課題である。

そのため、平成7年度に4・5歳児をもつ保護者を対象に「4・5歳児をもつ父親・母親の養育態度・意識の実態調査」を実施した。この調査の中では、親の養育はおおむね健全にすすめられているが、親子関係を中心とした子育ての不安をもっていることが明らかになった。(前回調査のまとめより)

しかし、今めまぐるしい社会変化の中、5年前のこのような親の傾向がいまも継続しているとは言い難い面が見受けられるようになった。

そのため本事業では、前回と同じ質問を基本に「テレビ視聴時間」や「習い事」など新たに10質問を追加し、対象に3歳児の保護者を加えた、「3・4・5歳児をもつ父親・母親の養育態度・意識の実態」について調査を実施した。

さらに、今回、0・1・2歳児の子どもをもつ保護者の養育態度・意識も併せて調査を行った。

この調査結果から、特に4・5歳児の保護者の養育態度・意識の5年間の変化を前回調査と比較検討することにより、今後の福岡県の乳幼児期における家庭教育の充実振興の基礎資料に資する。

### 2. 調査の方法

#### (1) 調査の対象

本調査は、福岡県下8地区の40幼稚園・保育園(所)の3・4・5歳児の保護者及び0・1・2歳児の保護者を対象に実施した。回収できたものから記入者が父親・母親以外のものを除いた3・4・5歳児の父親1,159名、母親1,437名、また、0・1・2歳児の父親134名、母親173名を有効回答とした。回収率は71.0%であった。

特に、その中で前回調査との比較検討を行う本事業の趣旨から、4・5歳児の父親840名と母親1,022名を分析対象とした。

有効回答者の内訳を子どもの年齢・性別で分類すると表1・2となり、兄弟姉妹の有無・兄弟姉妹の位置で分類すると表3・4になる。さらに幼稚園か保育園(所)か、親の年代で分類すると表5・6のとおりである。

#### (2) 調査の方法

本調査は質問総数30項目からなる調査票「幼児(3・4・5歳)をもつ保護者の子育てに関するアンケート」と質問総数11項目からなる調査票「乳幼児(0・1・2歳)をもつ保護者の

子育てに関するアンケート」によって、無記名で行った。調査票は男性の保護者用と女性の保護者用を作成し、質問の構成と内容は同一のものとした。

調査票は親の養育態度を①養育行動と②親子の交流とに分け、さらにこれらの背後にある③養育意識の3領域で構成している。

養育行動の領域では、基本的な生活習慣のしつけについて、親子交流の領域では、しつけをするものとしての子どもの認知及び子どもの受容について質問している。

養育意識の領域では、養育が目標に向けた営みであることから、その目標のありようを、また、子どもとの共同の営みであることから、親によるしつけの自己評価や悩み、期待、親が直面する課題について問いかけている。質問項目の構成を表7-1・2に示している。

アンケートの質問と回答の結果は、個別に本文中に、また全文と集計のまとめを本報告書の末尾に記載している。

### (3) 調査の実施方法と時期

調査の実施にあたっては、調査に協力いただいた幼稚園及び保育園（所）に調査票を直接持参し、学級担任をとおして各家庭に配布し記入をお願いした。

調査を実施した時期は平成12年9月である。調査に協力いただいた幼稚園及び保育園（所）の名称は本報告書の末尾に記載している。

表1 子どもの年齢・性別による父親数

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
男子	14	31	25	172	229	209	680
女子	16	29	17	145	197	183	587
未記入	0	2	0	2	1	21	26
合計	30	62	42	319	427	413	1,293

表2 子どもの年齢・性別による母親数

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
男子	16	37	31	208	282	240	814
女子	20	46	22	204	259	222	773
未記入	0	1	0	3	1	18	23
合計	36	84	53	415	542	480	1,610

表3 子どもの兄弟姉妹の有無・年齢別による親数

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
父 親	ひとり	8	23	8	48	61	42	190
	兄弟姉妹あり	21	38	34	270	366	357	1,086
	未記入	1	1	0	1	0	14	17
	小計	30	62	42	319	427	413	1,293
母 親	ひとり	9	32	15	75	85	47	263
	兄弟姉妹あり	27	52	38	340	454	420	1,331
	未記入	0	0	0	0	3	13	16
	小計	36	84	53	415	542	480	1,610
合計		66	146	95	734	969	893	2,903

表4 子どもの兄弟姉妹の位置・年齢別による親数

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
父 親	長子	8	26	15	142	193	188	572
	長子以外	21	35	27	176	234	211	704
	未記入	1	1	0	1	0	14	17
	小計	30	62	42	319	427	413	1,293
母 親	長子	9	38	23	190	247	209	716
	長子以外	27	46	30	225	292	258	878
	未記入	0	0	0	0	3	13	16
	小計	36	84	53	415	542	480	1,610
合計		66	146	95	734	969	893	2,903

表5 子どもの幼稚園・保育園（所）・年齢別による親数

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
父 親	幼稚園				111	240	307	658
	保育園	30	62	42	208	187	106	635
	小計	30	62	42	319	427	413	1,293
母 親	幼稚園				129	277	342	748
	保育園	36	84	53	286	265	138	862
	小計	36	84	53	415	542	480	1,610
合計		66	146	95	734	969	893	2,903

表6 親の年代別

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	未記入	計
父	親	0	163	791	303	24	1	11	1,293
母	親	2	337	1,091	170	1	0	9	1,610
合計		2	500	1,882	473	25	1	20	2,903

表7-1 調査票の構成（0・1・2歳児の保護者用）

養育行動	親子の交流	養育意識
(1) 基本的生活習慣	(1) 子どもの認知	(1) 養育の悩み
6. テレビ	1. ほめる	7. 虐待 10. 孤立
	(2) 子どもの受容	
	2. ふれあいの時間 3. スキンシップ 5. 叱る 8. 子ども同士の交流 9. 楽しい子育て	

\* 1～10の番号はアンケートの質問項目番号（4番は電話相談機関の認知・11番は子育てについての自由記述）

表7-2 調査票の構成（3・4・5歳児の保護者用）

養育行動	親子の交流	養育意識
(1) 基本的生活習慣	(1) 子どもの認知	(1) 養育の目標
1. 起床 2. 洗顔や歯磨き 3. 用意 4. 片付け 25. テレビ	7. 手伝い 8. 友の認知 9. ほめる 10. 強要	15. 他児との比較 16. 男女の区別 17. 育てる上での重点 26. 習い事
(2) 言葉のしつけ	(2) 子どもの受容	(2) 自己評価
5. 挨拶 6. 言葉の乱れ	11. ふれあいの時間 12. 対話 13. 叱る 14. スキンシップ 27. 子ども同士の交流 28. 楽しい子育て	18. しつけの自信 19. しつけの甘さ 24. 叱り方
		(3) 養育の悩み
		20. 養育の不安 21. 不安の解消法 22. 虐待 29. 孤立

\* 1～29の番号はアンケートの質問項目番号（23番は電話相談機関の認知・30番は子育てについての自由記述）

### 3. 分析の基本的視点

調査結果の分析は、調査票の構成に沿って行った。質問毎の特徴や傾向を把握するために、結果の集計は父親・母親別に行い、パラメーターとして幼稚園・保育園（所）別、年齢別、男女別に分析し、それぞれについて説明した。

さらに、平成7年度に実施された調査を「前回調査」として、比較検討し5年間の親の養育行動・意識の変化のありようについて分析及び考察を行った。

なお、兄弟姉妹の有無別・位置別、親の年代別にみた傾向については本報告書ではふれていない。



## ◆第2章 親の養育態度

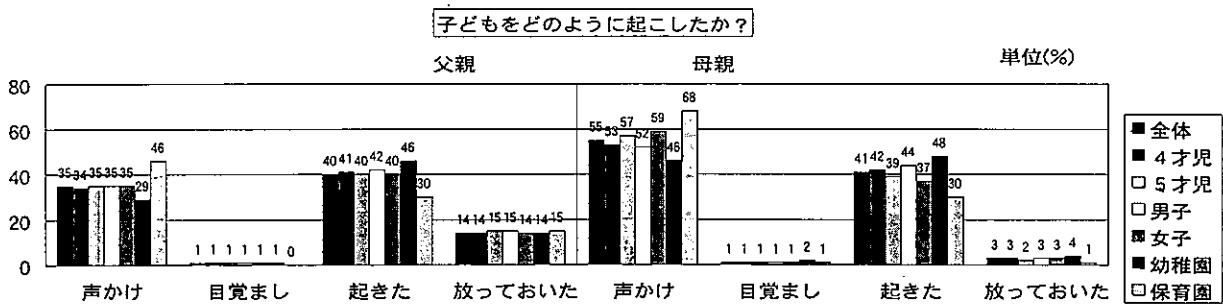
### 1. 基本的な生活習慣

生活の仕方や望ましい生活のリズムを、親が子に伝えていかねばならない部分が基本的な生活習慣であろう。この基本的な生活習慣の確立のための親のかかわり方を、「起床」「洗顔や歯磨き」「出かける用意」「片付け」「TVの視聴時間」から見てみる。

#### (1) 起床

朝、自分で起きることの習慣づけは難しいようである。「小学生調査」(H8調査)・「中学生調査」(H9調査)では70%の母親が起こしていると答えている。しかし、幼児では「目覚まし」で起きる子どもは1%と少ないが、親が起こす前に起きた子どもは40%とかなり多い。決まった時間に眠り、決まった時間に起きるという生活リズムを作ることが、幼児期の課題であるなら、起きるまで放っておいては身につかない。「起きるまで放っておいた」父親14%に比べ母親は3%と少ないのと、「声をかけた」父親35%に比べ母親55%であることは、母親の生活リズムを作って行かなくてはという意識が強いと見るべきであろう。

「声をかける」のは幼稚園より保育園が多く、その差は父親18%・母親22%である。幼稚園児で「自分で起きた」47%に比べ、保育園児が30%と少ないのとを重ねて考えると保育園児の早く起こさねばならない親の都合が見える。

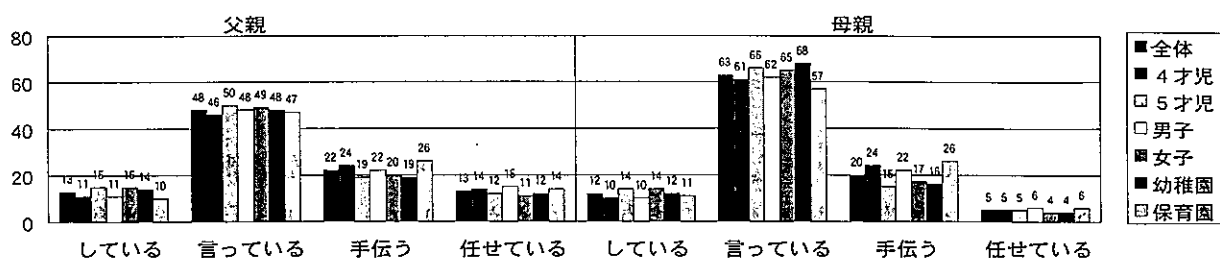


#### (2) 洗顔や歯磨き

洗顔や歯磨きの習慣が身につく道筋としては、親がしているのを見て「自分もしたい」という真似から始まる。子どもがするのは心もとないので親と一緒にしながら手伝ってやり方を教える。上手にできるようになって自信がつき、それが自分から行う自主性につながる。母親は前回の調査と比べ変化は見られないが、「言ってさせている」父親は10%減っており、その分「手伝ってさせている」父親は9%増えている。父・母親も「手伝ってさせている」と答えたのは5歳児より4歳児に多く、「言ってさせている」のは4歳児より5歳児に多くなっている。

このことから子どもの洗顔や歯磨きに父親は手伝う所から始め、母親は放っておけないが、段階を踏まず「手伝うこと」より「言ってさせようとする」ことが多いようである。子どもの実態はさておいて、5歳児は自分でできて当然という親の期待も窺える。

洗顔や歯磨きをどのようにさせるか？

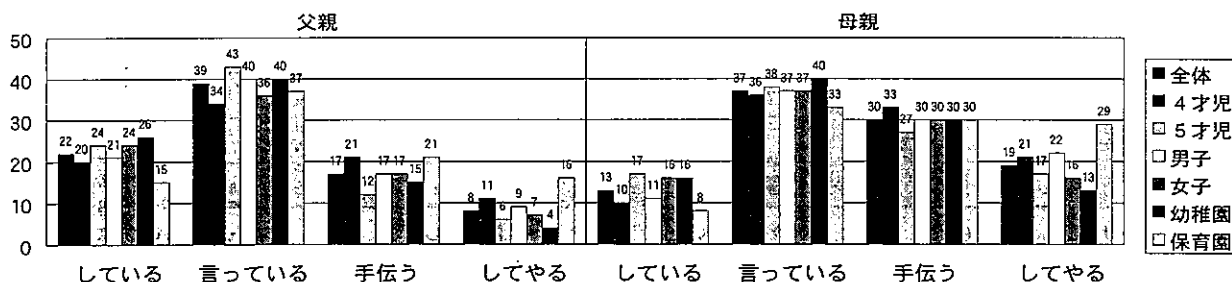


(3) 幼稚園・保育園に出かける用意

幼稚園・保育園に出かける用意は時間をかけてゆったりとした気持ちでかかわることが子どもの自発性を育てるものである。早く早くと追い立てることは禁物である。

「言わなくてもしている」と答えた母親は13%・父親22%と認識の違いがあるが、前回の母親13%・父親31%よりも差は小さくなってきている。「言ってさせている」父親が前回45%で今回39%であり、「手伝ってさせている」「してやる」は前回と変わらないという結果からみると、用意に関して父親はあまり関わらなくなったといえる。母親で「言ってさせている」は前回45%で今回37%と少なくなり、「手伝ってさせている」は前回25%で今回30%であり、「してやる」は前回17%で今回19%と多くなっている。このことは手伝わなければ用意ができない子どもと、見かねてつい手を出してしまう待てない母親が多くなったと考えられる。

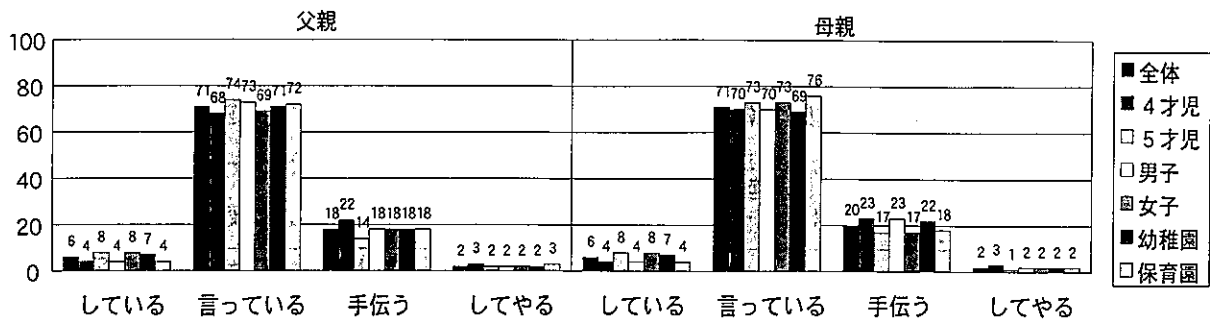
出かける前の用意をどうしているか？



(4) 遊んだあとの片付け

遊んだあとの片付けをどのようにさせていますかという問いに、「言わなくともしている」と答えたのは父親・母親とも6%で前回と同じく極めて少ない。片付けは幼児にとって苦手なことのようだ。親が片づけながら生活する姿をモデルとして見、片づけることの気持ちよさを感じるものが「片づけよう」という気持ちへとつながっていく。手伝うことで片付け方や場所がわかる。「しなさい」と言われてできることではない。片付けを「言ってさせている」父親・母親とも71%と多く、「手伝ってさせている」父親18%・母親20%と少ない。しかし、その中で4歳児父親の「手伝ってさせている」が前回より8%増えている。一緒に片付ける父親が多くなったと言えるし、一緒にやりながらさせるという段階を踏まずに一方向的に指示して片付けさせる母親の姿や、4歳は手伝わないとできないが5歳はもうできてよいはずという親の思いも見える。一緒にするという段階をもう少し丁寧にかかわって欲しいところである。

片付けをどのようにさせるか？



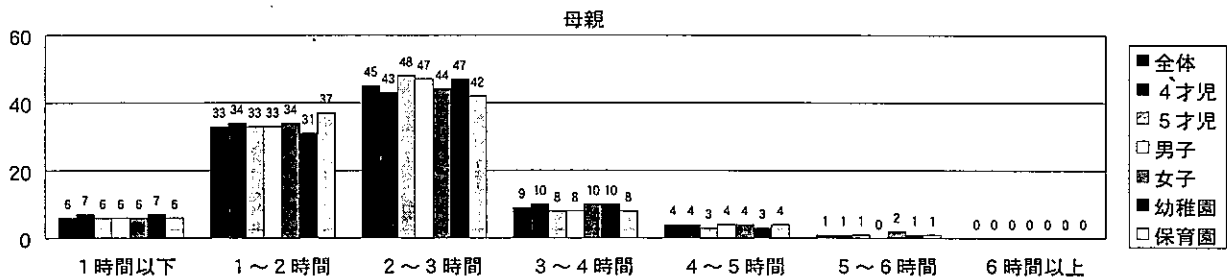
(5) テレビの視聴時間

現代の子どもはもうテレビとは切り離せない関係といえる。生まれたときからテレビが家の中にあり、その映像を親しい友達のように見て育っている子どもたちである。

「お子さんにふだん1日にどのくらいテレビを見せていますか」という問いに対して、1時間以下父親6%・母親6%、1～2時間父親33%・母親33%、2～3時間父親41%・母親45%、3～4時間父親10%・母親9%である。視聴時間は1時間～3時間に集中している。

このことは0・1・2・3歳児も同様の傾向である。このことから、テレビは親にとって忙しくて子どもとかかわれない時の子守の役割ということであろう。テレビは一方的に語りかけるばかりである。親子で一緒に見ていれば、子どもの語りかけにも応えられるし見たあと共感もしあえる。親子での視聴が望ましいのである。それにしても4時間以上の視聴時間は長すぎる。子どもの心身の健やかな育ちが心配される。

ふだん1日にどのくらいテレビを見せているか？



2. 言葉のしつけ

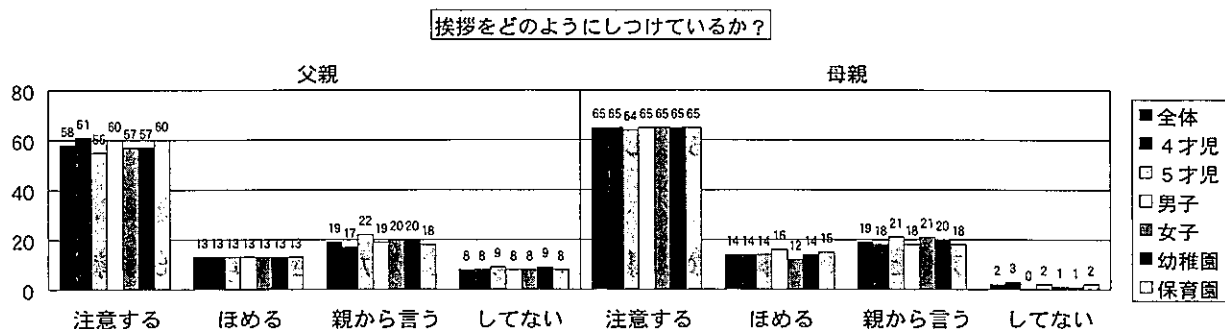
「人とかかわりの育ち」と言葉は切り離せない関係にある。言葉は心を快くもさせるが傷つける。言葉のしつけに関して挨拶、言葉の乱れへの親の態度を調査から考える。

(1) 基本的な挨拶

挨拶は日常生活の様々な場面で、朝の挨拶、食事の挨拶、親切にしてもらったときのお礼の言葉、帰りの挨拶など相手に自分の気持ちを伝える大切な言葉として交わされる。

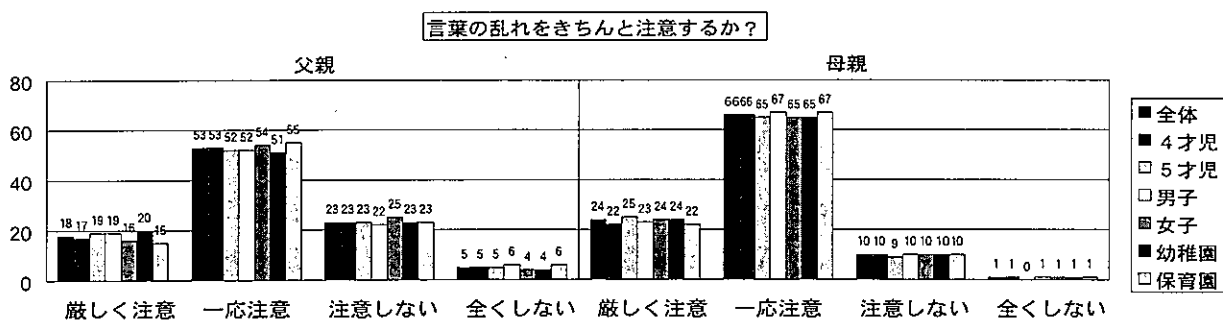
あなたはお子さんに「はい」「ありがとう」「おはよう」などの基本的挨拶をどのようにしつけていますかという問いに、「言わないときに注意する」父親58%・母親65%と一番多い。親は社会生活をしていく上で挨拶が大切なことであるという認識は前回と同様である。親から「言っ

てみせる」父親19%・母親19%と少なく、「言ったときにほめてやる」父親13%・母親14%も同じように少ない。親同士がねぎらいや感謝の気持ちを伝えあっているならば、子どももそうした言葉と場面の関係を理解して使うようになるものである。親はモデルということをもっと自覚し、言えたときの気持ちよさを共感しほめて欲しいものである。



## (2) 言葉の乱れ

4・5歳になると、幼児は言葉の繰り返しや発音の面白さを感じ、自分でも使ってみて、相手の反応を楽しむようになってくる。「あなたはお子さんの言葉の乱れや流行語の使用をきちんと注意していますか」という問いに対して「きびしく注意している」のは父親18%・母親24%で前回よりわずかだが増えている。「一応注意している」が一番多く、父親53%・母親66%であり、このことは親の「いけないこと」と「教えておかなければならぬがまあいいだろう」という気持ちの表れであろう。その中には「子どもの成長の過程として受け入れられる」、「そこまで耐えがたい使われ方ではないから」など親のいろいろの気持ちが考えられる。「あまり注意していない」父親23%・母親10%で、父親は前回26%から3%減少しているが、「全くしない」父親5%・母親1%である。言葉の意味を問い直し、言葉を大切にしていくための支援・促進が親の態度として求められる。



## 3. まとめ

親の養育態度を基本的な生活習慣と言葉のしつけの両面から調べた。行動様式を身につけていく過程は、視点を変えれば子どもの試みの連続であって、それは体験やその体験の再構成の問題であるという側面を示唆している。生活習慣の獲得は基本的に子どもが主体である。

しかし、現実の家庭生活の中では親の便宜が優先しがちである。その子どもが、その時期に本

当に身につけていかななくてはならないことは何か、心の育ちはどうなのかなどを今一度考えてみなくてはならない。

子育てにかかわる親の基本的な姿勢は、子どもが主体的に生活でき学習が生じるように支えるものでなくてはならない。今まで出来なかったことができるようになったことで、子どもは自立心、自信、有能感などが芽生えるものである。しかし、できるようになればいいということではない。できるようになるまでの過程が大切なのである。時間がかかっても、一人でできたことを認め、急かすことのない対応が大事である。

親には、生活習慣は「型を教え込む」「繰り返し行うことによって身につく」という思い込みがある。心の育ちは忘れられがちである。また、待つことが大事だと思っても忙しさに、つい「早く早く」とせかしてしまったり、「ああしなさい」「こうしなさい」と指示してしまったりということが多くなっているのだろう。そのことが「言わないとしない」、「言われるまで待っている」子どもに育ててはいないだろうか。

親がモデルになる、それを見て「自分もしたい」というチャンスを逃さないことである。そして見守り、気づかせ、励まし、ほめる、支えるという温かいかわりを忘れてはならない。

## ◆第3章 親子の交流

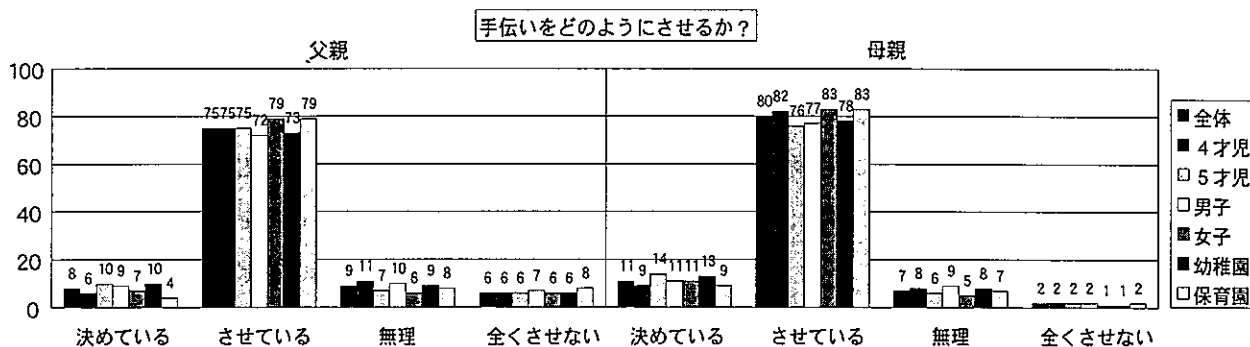
### 1. 子どもの認知

我が子の育ちをしっかりと認知することは、養育する親として大切なことである。

幼いながらも日々成長している我が子を親がどのように見ているかについて、「手伝い」「友の認知」「ほめる」「強要」という4つの設問から考えてみる。

#### (1) 手伝い

「あなたは、お子さんに対してどのようにお手伝いをさせていますか」という問いに、「決まった手伝いをさせている」と回答したのは、父親8%・母親11%であり、父親・母親とともに、4歳児よりも5歳児に対して積極的である。「決めてはいないがさせている」と回答したのは、父親75%・母親80%であり、とりわけ母親は男児よりも女児に対して積極的である。このように、ほとんどの親が手伝いをさせていることが分かる。しかし、「無理なのであまりさせていない」「全くさせていない」を合計すると、父親15%・母親9%であり、5年前の調査と比べて変わらない。手伝いは、家族の一員であることを体験する第一歩である。親から見ればまだ時間もかかり幼く感じるが、幼いながらも手伝えることがあるはずである。家族の一員としての存在感、自分の仕事をやり遂げる達成感などを、お手伝いを通して味あわせたいものである。

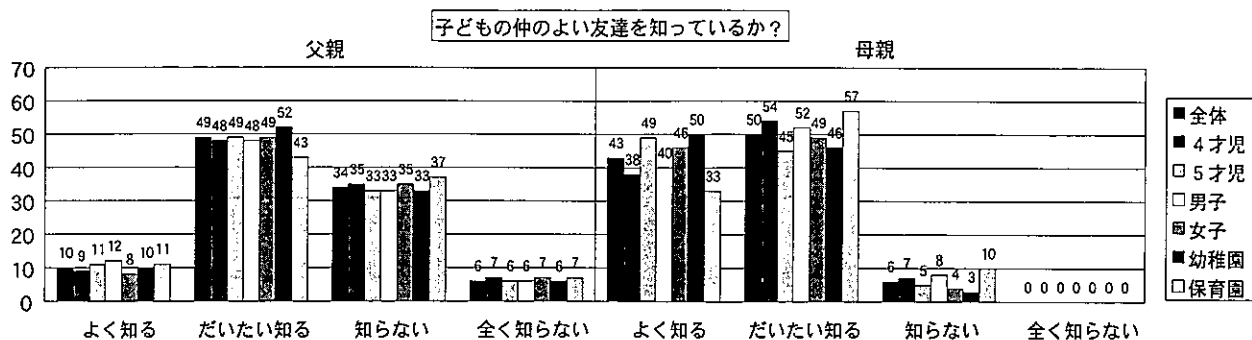


#### (2) 友の認知

「あなたは、お子さんの仲のよい友達を知っていますか」という問いに、「よく知っている」と回答したのは、父親10%・母親43%であり、「だいたい知っている」と回答したのは、父親49%・母親50%である。双方を合計すると、父親59%・母親93%で、母親は友の認知に対して関心が高いようである。これは、母親の方が、日常生活の中で他の子どもとふれあう我が子を見ることが多いため、友達への関心を高めるのだと考える。

一方、誤った早期教育に走る親にとっては、我が子と比べる対象として友達への関心を高められているという危惧を感じる。

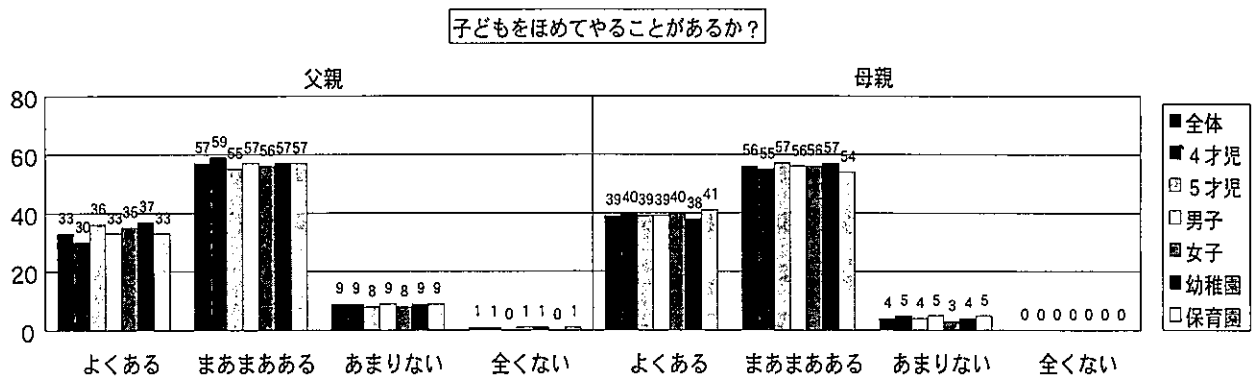
友達は子どもの成長に欠かすことができないものである。特に、幼児期に始まる遊び友達づくりは、適切な自己主張の仕方や約束を守るという社会性の学びとなる。その意味で、友達は我が子の育ちを相乗的に図ってくれるものと考え、その育ちを認知することが望ましい。



(3) ほめる

「あなたは、お子さんをほめてやることがありますか」という問に、「よくある」と回答したのは、父親33%・母親39%であり、「まあまあある」と回答したのは、父親57%・母親56%である。また、「あまりない」と回答したのは、父親9%・母親4%であり、前回の調査に比べて、父親の割合が減少していた。全体的には、ほめて育てようとする態度があり、特に父親の方に積極的な変容が伺える。

昔から「子どもはほめて育てよ」と言われるように、「ほめる」ことは、子どもの考える力や意欲を育てる上でとても大切である。人間は他人にほめられることで自信をもち、それをバネにして自ら伸びようとするからである。一方で、子どもの状況に合った叱り方も子育てにおいては大切である。ほめて育てることを心にとめながらも、叱るべき時にはしっかり叱る親の姿勢が子育てにおいて大切である。

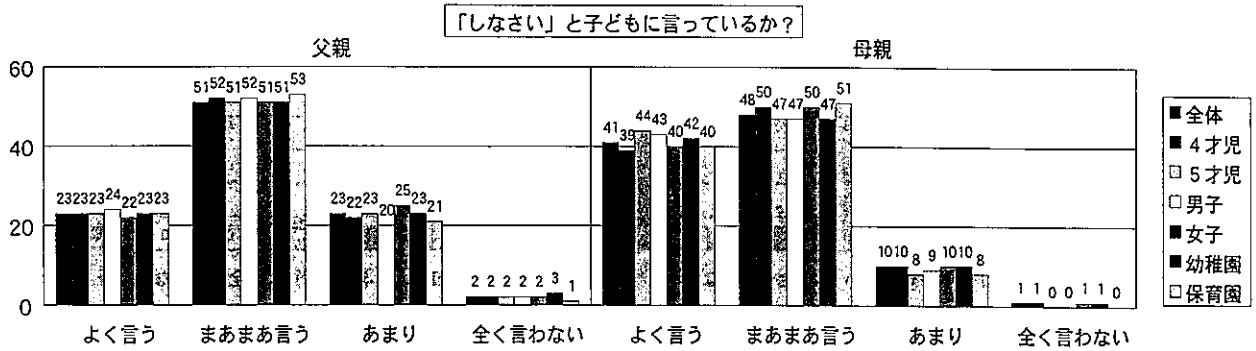


(4) 強要

「あなたは、お子さんに『あしなさい、こうしなさい』と言っていますか」という問に、「よく言っている」と回答したのは、父親23%・母親41%で、母親が4歳児よりも5歳児に対して多かった。「よく言っている」と「まあまあ言っている」を合計すると、父親74%・母親89%で、母親の方が強要の傾向が強いといえる。一方「あまり言っていない」と回答したのは、父親23%・母親10%であり、前回調査と比べて変化はない。

親にとっては、「しつけ=指示・命令」と思い込みがちで、子どもの言い分を聞く余裕をなくしている傾向がある。これでは子どもに考える暇を与えないことになり、指示待ちの子どもを育ててしまうおそれがある。親は子どもの育ちから考えて、無理な注文を押しつけているのではないかと一度自分を振り返る必要がある。一方で、自由と放任の取り違いにおける子育ての

問題も危惧されるところである。



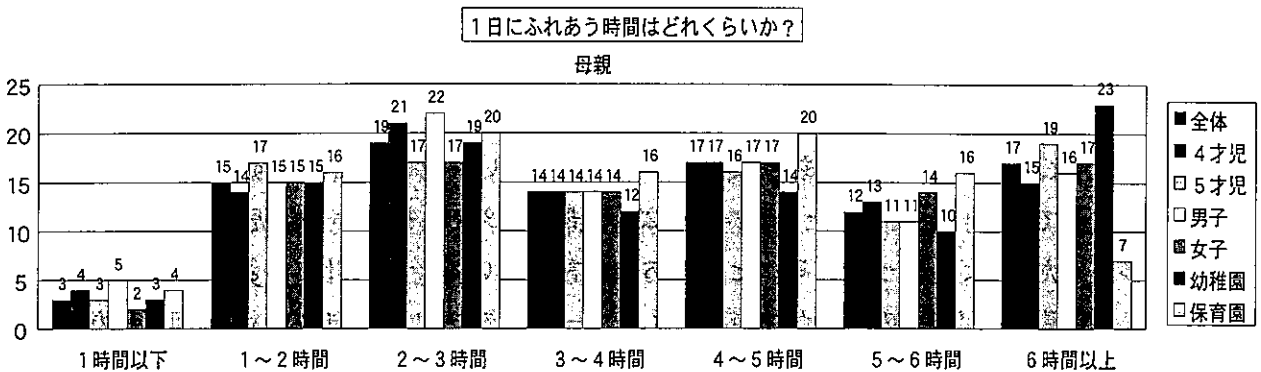
## 2. 子どもの受容

子どもの育ち、子ども自身が親の愛情に受け入れられているという実感によって前進していく。親が子どもに心を開いているかを、「ふれあいの時間」「対話」「叱る」「スキンシップ」「子ども同士の交流」「楽しい子育て」という6つの設問から考えてみる。

### (1) ふれあいの時間

「あなたが、ふだん一日にお子さんとふれあう時間の合計はどれくらいですか」という問いに、「2時間以下」と回答したのは、父親58%・母親18%であり、父・母親ともに、前回の調査に比べて割合が上がっていた。「5時間以上」と回答したのは、父親3%・母親29%で、前回の調査に比べて母親の割合が10%も下がっていた。このように、親とふれあう時間が減少していることから、子どもが親と一緒に過ごす時間は、時代の傾向として確実に短くなっているといえる。

少子高齢化や人間関係の希薄化が進む中、親子のふれあいの時間まで減少していくことに危惧を感じる。人は人とのふれあいの中で人間性を育てていく。特に、幼児期の親とのふれあいは、情緒の安定や人への信頼感など心身の成長発達の基礎となる重要なものであるという認識を親はもっておかなければならない。



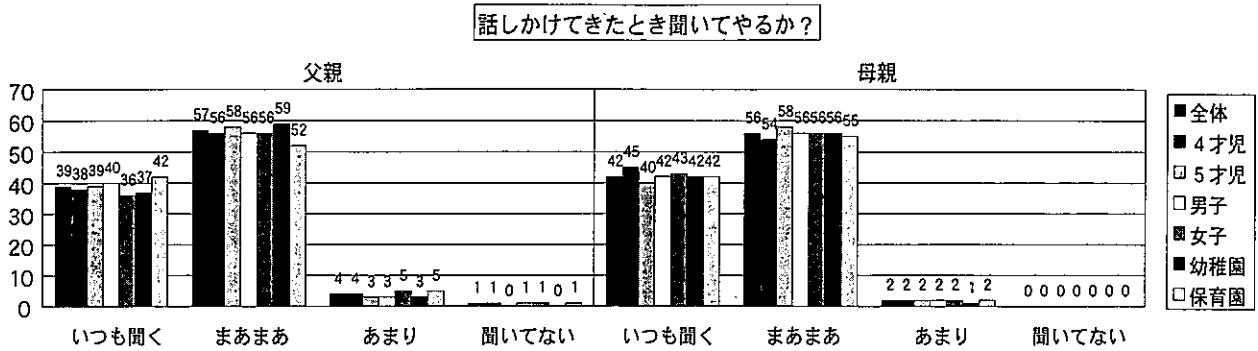
### (2) 対話

「あなたは、お子さんが話しかけてきたとき、聞いてあげていますか」という問いに、「いつも聞いている」と回答したのは、父親39%・母親42%であり、「まあまあ聞いている」と回答したのは、父親57%・母親56%である。双方を合計すると、父親96%・母親98%で、「聞いていない」



親はほとんどいないといえる。前回調査と比べて、父親の割合が上がり積極的な姿勢が伺える。

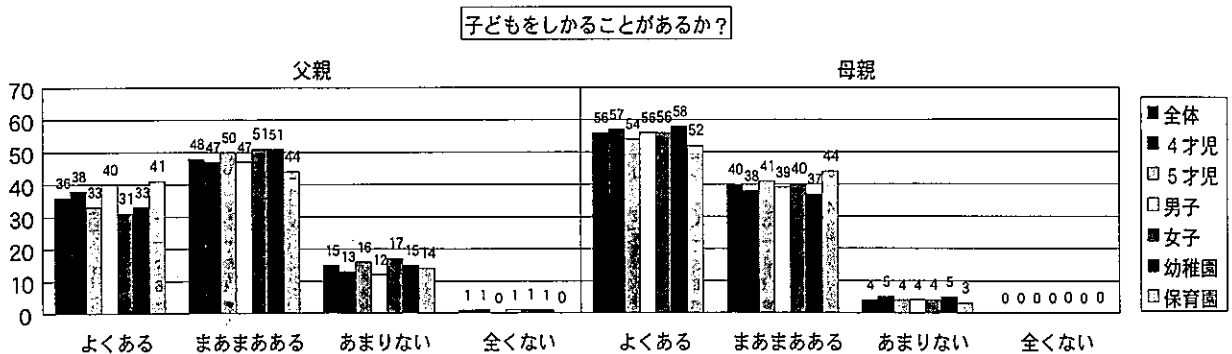
幼児期は、見たこと聞いたことすべてが新鮮であり、その感動を分かちたいという欲求から誰彼となく話しかける。特に、言葉を覚え始めた子どもは、母親にその相手を求めることが多い。話に耳を傾けることが子どもの心を受け止める入口である。子どもは不思議なくらい聞く側の態度を感じ取る。「まあまあ聞いている」という親の態度では、「聞いてくれている」という実感を子どもには与えないこともあり、留意すべきである。



### (3) 叱る

「あなたは、お子さんをしかることがありますか」という問に、「よくある」と回答したのは、父親36%・母親56%であり、「まあまあある」と回答したのは、父親48%・母親40%である。双方を合計すると、父親84%・母親96%であり、父親・母親ともに叱る傾向が強いといえる。一方、「あまりない」と回答したのは、父親15%・母親4%であった。

子どもを思いどおりに支配したいという自己本位で感情的な叱り方は、子どもの「意欲」や「思いやり」の育成に大きな影響を与える。子どもを人間らしく育てていくためには、子ども自身が何故叱られるのかを分かり、悪いことをしたということを受容していけるような叱り方が必要である。また、「して良いこと」と「悪いこと」のけじめを教え、人生の基本ルールや指標を示すことのできる親として、叱った後のフォローも大切にしてほしい。

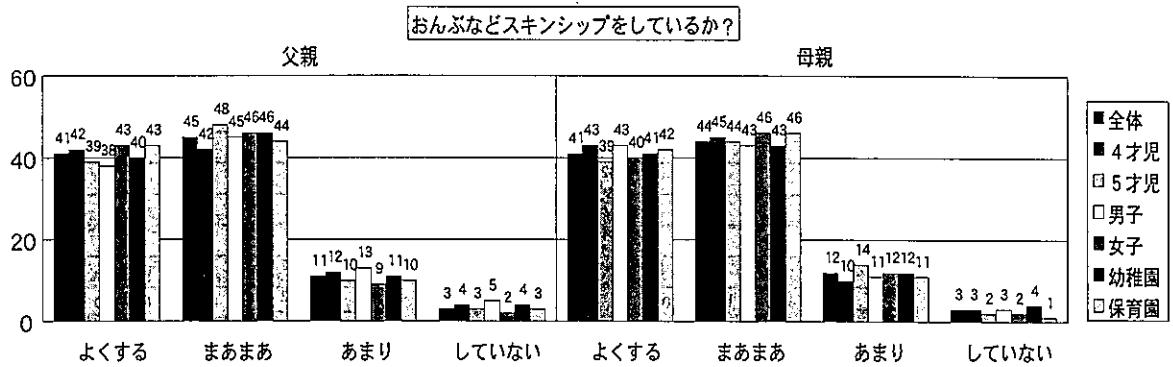


### (4) スキンシップ

「あなたは、お子さんとおんぶやだっこでスキンシップをしていますか」という問に、「よくしている」と回答したのは、父親41%・母親41%である。5年前の「父親は女兒と、母親は男児とスキンシップをよくしている」という調査結果に比べ、男女児別の違いはなくなっていた。「よくしている」「している」を合計すると、父親86%・母親85%であり、前回調査と比べて、

父親の方が割合が増加し、スキンシップに対して積極的な変容を見せていた。しかし、「あまりしていない」「ほとんどしていない」を合計すると、父親14%・母親15%と皆無ではないことに危惧を感じる。

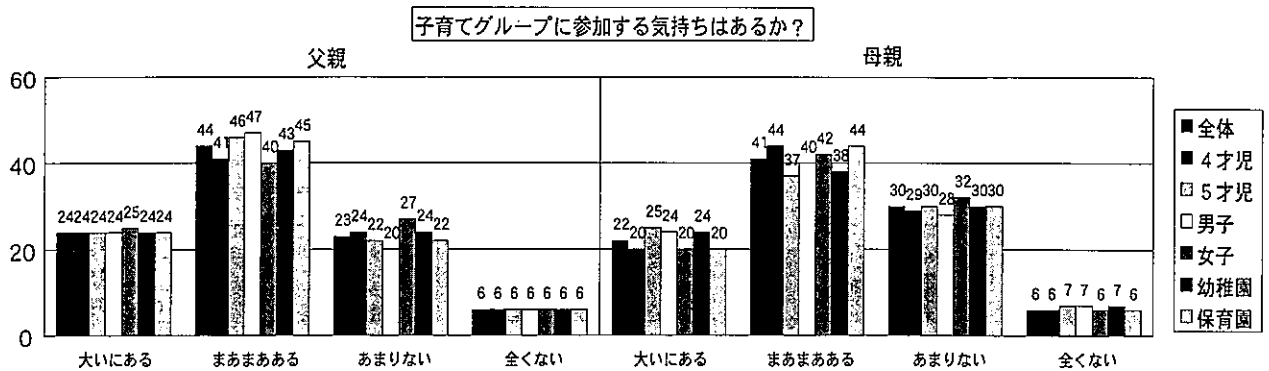
幼児期の子どもは、自分を主張する一方で、まだ不安をもっている。急激な子離れは子どもを不安に陥らせる。十分なスキンシップがあつてこそ、子どもとの間に情緒的な結びつきが強められることを認識して、もっと積極的なふれあいを求めたい。



### (5) 子ども同士の交流

「あなたは、お子さんを幼稚園・保育園以外で一緒に遊ばせるグループがあつたら参加させる気持ちはありますか」という問に、「大いにある」と回答したのは、父親24%・母親22%であり、「まあまあある」と回答したのは、父親44%・母親41%である。双方を合計すると、父親68%・母親63%であり、参加を希望する傾向がある。しかし、「あまりない」と回答したのは、父親23%・母親30%であった。これには、「現状に満足している」「親子のふれあいの方を優先したい」「親自身が他とのかかわりに対して面倒だと感じている」などの理由が考えられる。

情緒が安定している子どもだと、3歳から4歳の間に「友達作りの能力」(社会性)が発達する。子どもは友達と遊ぶ楽しさを求めていく中で、相手によっていろいろな考え方があつてを学んでいく、ということを親は認識しておくことが必要である。

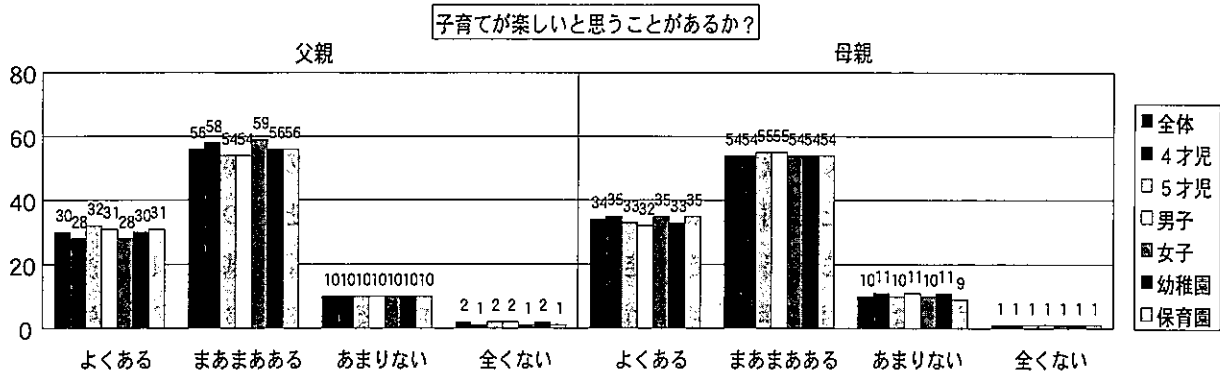


### (6) 楽しい子育て

「あなたは、子育てが楽しいと思うことがありますか」という問に、「よくある」と回答したのは、父親30%・母親34%であり、「まあまあある」と回答したのは、父親56%・母親54%である。双方を合計すると、父親86%・母親88%であり、全体としては子育てに対して「楽しい」というイメージを持っている傾向が強い。一方「あまりない」と回答したのは、父親10%・母

親10%で、数値は低いが危惧を感じる。

今、育児ノイローゼが広がっている。「このままでいくと我が子を虐待してしまうのではないか」といったおそれを自分自身にいただき、そのことを誰にも打ち明けられずにいる親も少なくない。元来、多くの母親は子育ての苦勞と引き替えに、我が子から、「癒しの効用」を得る体験をしてきたという。子育ての喜びを共有できる夫婦関係であれば、親だけでなく、子どもも自分が「愛されている」という実感を得ることと思う。



### 3. まとめ

子どもは多様な人間関係を経験しながら、主体性ととともに自ら社会性を発達させていく。特に、幼児期に大きな影響を与えるのは親子関係である。そこで、親子の交流を子どもの認知と子どもの受容の二つの面から調べた。

子どもの認知の面では、ほとんどの親が手伝いに対して積極的で、ほめて育てようとする前向きな姿勢をもっている。しかし、強要の実態は5年前の調査結果と変化がなく、父親・母親ともに割合が高かった。幼児期においては、「しつけねばならない」という焦りに似た気持ちがあるのではないかと推測される。

親がしつけを急ぐと、子どもを思いどおりに支配したいという自己本位な叱り方を生み出す傾向がある。その結果、子どもに考える暇を与えず戸惑わせてしまう。子どもが納得していけるように、ほめることと叱ることを使い分け、叱った後のフォローも大切にして、我が子の育ちを認知してほしい。

子どもの受容の面では、5年前の調査結果に比べて、母親のふれあいの時間が減少していたことに危惧を感じる。父親についていえば、子どもとのふれあい、対話、スキンシップをしている割合が5年前の調査よりアップしており、優しく家庭的な傾向が出てきていることが伺えた。

幼児期における親子のふれあいは、情緒の安定だけでなく、人への信頼感を強め、児童期・青年期へ大きな影響を与えることから、今後も一層大切にしてほしい。

また、子育てに対しては、予想以上に「楽しい」というイメージをもっていた。“子育ては自分育て”といわれるように、親自身が学び、人間として豊かに成長していく営みが「子育て」なのだという視点をもつことが、子育ての楽しさにつながると考える。

“親子の交流は子育ての基盤である”ということ、今一度、夫婦や家族の中で確認し合うことが求められる。

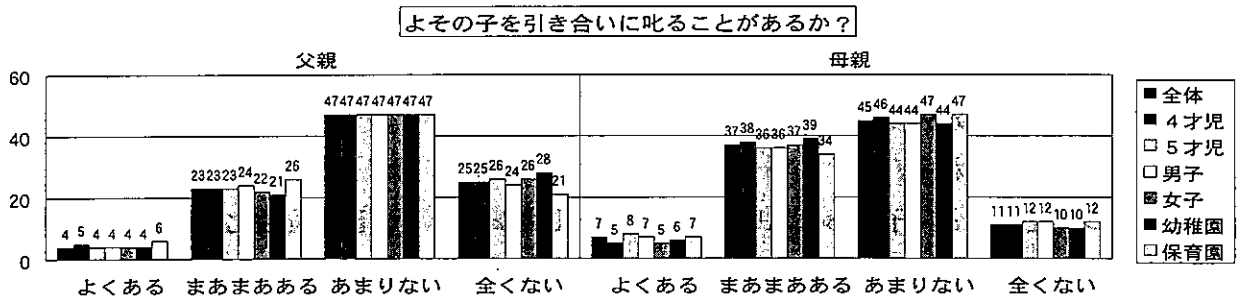
## ◆第4章 親の養育意識

### 1. 養育の目標

親は、わが子に「こんな子どもになってほしい」という期待を抱く。一方ひとりひとりの子どもには、それぞれの持ち味がある。それらを活かすような方向づけの中で、子どもへの期待像が温められることが望まれる。ここでは「他児との比較」「男女の区別」「育てる上での重点」、さらに今年度新たに付け加えた「習い事」の4つの設問から、養育の目標に対する意識を考えてみる。

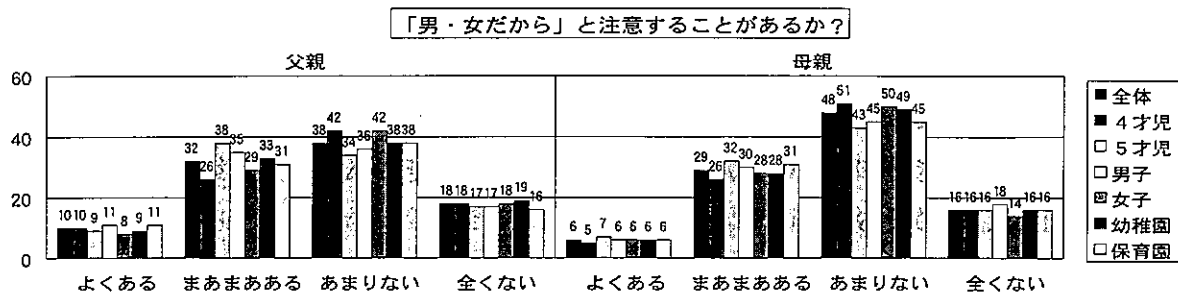
#### (1) 他児との比較

他の子を引き合いに出して注意するとき、親は比較されることでその子が奮起発奮し、自分のマイナス面を努力することを期待している。しかし、比較される子どもの立場としては、逆に自尊感情や意欲を削がれる結果に結びつきやすい。あくまでもその子を基準とした成長や変化を認めた上で、さらなる成長の可能性を意識づけたいものである。「あなたは、お子さんをきょうだいやよその子を引き合いにして注意したり、しかったりすることがありますか」という問いに、「よくある」「まあまあある」と回答した父親は27%、母親は44%である。前回調査の父親31%・母親43%に比べると、父親はさらに少なくなっているが、その中で幼稚園児をもつ父親と保育園児の父親では若干の差がみられる。幼稚園児25%に対して保育園児の父親32%とやや保育園児の方が高い。就労中の母親に代わって、園への送迎を引き受けている父親も多くなり、その折に他の子どもの様子を目にする機会があるからではないだろうか。



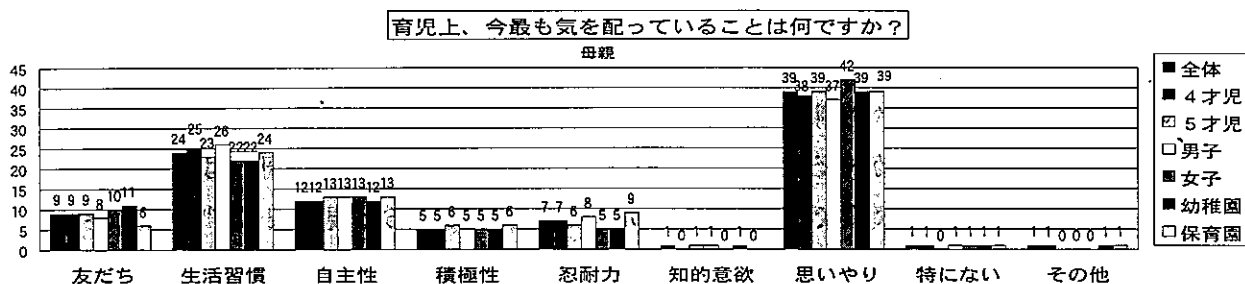
#### (2) 男女の区別

性役割の分担は、幼児期にはそれほど区別されていないようであるが、子どもは成長とともに社会化していく中で、親の期待にそって性役割を意識するようになる。「あなたは、お子さんを『男の子だから』『女の子だから』とって注意することがありますか」という問いに、「よくある」「まあまあある」と回答したのは、父親が42%、母親が35%である。上記のきょうだいやよその子との比較とは逆に父親の方が高い割合である。男女間で父親において差が見られ、女兒の37%に対して男児は46%と高くなっている。すなわち父親は同性である男児に対して性役割をより強く期待しており、それだけ固定的な性役割意識をもちやすいと言えるかも知れない。年齢間では5歳児の方が4歳児より高く、加齢とともに男女にかかわらず、性役割に対する親の意識は高くなるようである。



### (3) 育てる上での重点

幼児期は社会に適応していくための基礎をつくる時である。そのためこの時期は身辺自立や基本的生活習慣の確立、生理的な安定、家族や身近な人たちとの情緒的な結びつきなど、社会生活をおくる上で最も基本的なことが発達課題となる。4・5歳児をもつ親はこの時期、どういった点を重視して養育を行っているのだろうか。「あなたが、お子さんを育てる上で、今最も気を配っていることは次のうちどれですか」という問いに対して、父親は「人やものへの思いやり」31%、「基本的生活習慣」22%、「自主性」15%の順であった。また母親は同じ順番で39%、24%、12%となっている。前回の調査では父親の方は「生活習慣」24%、「思いやり」22%、「自主性」21%の順であり、上位2つの順番が入れ替わったことになる。男女児別で見ると、「思いやり」は他の項目に比べ、男児より女児の方が父母ともに多い。また父親では、「自主性」と「忍耐力」について男児の割合が女児より高くなっている。これらは男児、女児のそれぞれに親が期待する性役割と関連していると思われる。

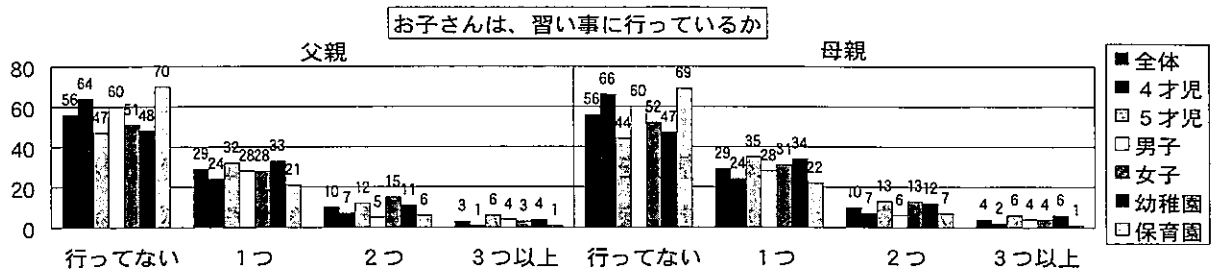


### (4) 習い事

子どもの習い事には、水泳やピアノ、習字、学習塾など多種多様なものがある。習い事をするかしないか、どんな内容のものにするかを決めるにあたっては、親の側の意志が大きく関与している。そこにわが子の将来への期待像を重ね、その道筋をつくろうとするからである。子どもの習い事に関しては、父母ともに「行っていない」56%、「1つ行っている」29%、「2つ」10%である。また「3つ以上」は、父親3%・母親4%で父母の値はほとんど一致している。加齢とともに習い事に行く子どもの割合が高くなっており、母親で「行っていない」という回答は、3歳76%・4歳66%・5歳44%であった。また同じ項目で幼稚園児47%・保育園児69%であった。これについては、習い事に対して保育園児の親の期待が薄いというよりも、両親が仕事を持つ場合、習い事に連れていくために時間を割くことが難しいという実際的な問題を考慮すべきであろう。ところで3つ以上行っている割合を個々の園ごとにみると、ほとんどの園が

0ないし10%以下であったが、その中で11%の保育園が1園、22%の幼稚園が1園みれた。

その地域にある習い事の教室数に差があるという実態とともに、習い事に関する親の意識が園によって大きくばらついていることが考えられる。いずれにしても子どもの主体性よりも親の期待が先行しすぎたり、習い事の負担により子どもの生活のバランスがくずれることのないよう留意したいものである。



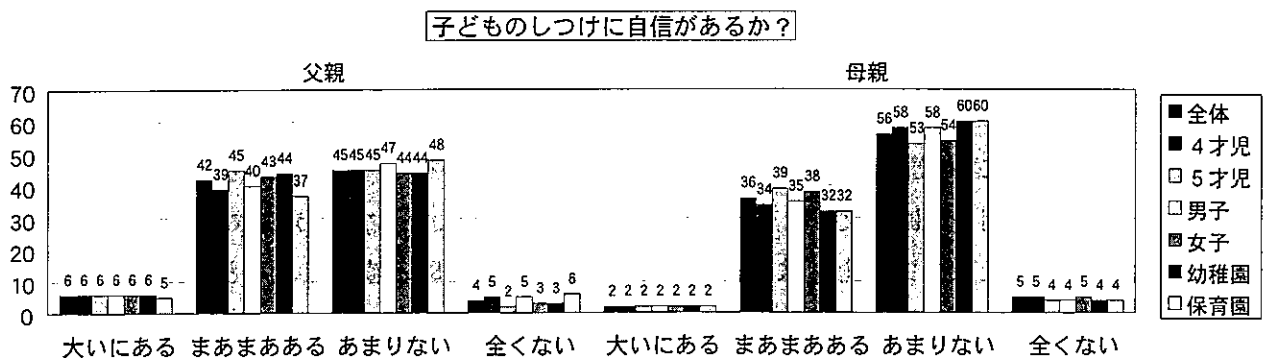
## 2. 自己評価

子育てを通して、親は自分も育て成長する。試行錯誤の養育の中で、親としての自らのあり方を問うことで、次の成長への足場がつくられる。ここでは「しつけの自信」「しつけの甘さ」「叱り方」という3つの設問を通して、親の自己評価を考えてみる。

3つの設問のうち、叱り方は今回の調査で新しく加えたものである。

### (1) しつけの自信

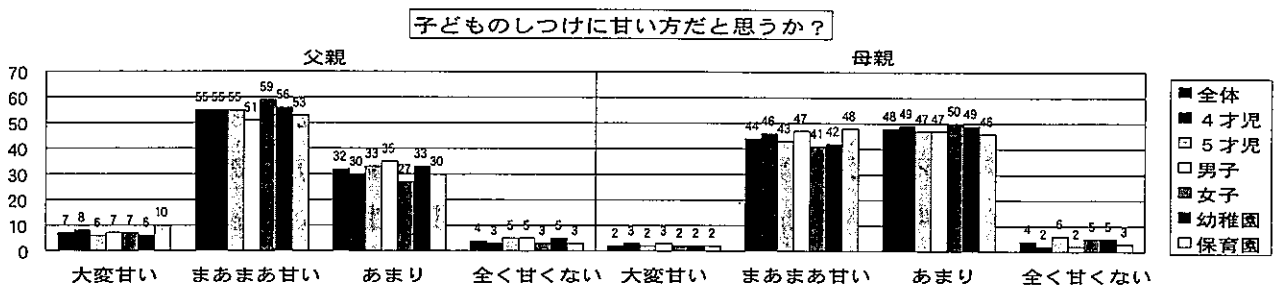
「あなたはお子さんのしつけに自信がありますか」という問いに、「大いにある」「まあまあある」と回答したのは、父親が48%、母親が38%であった。年齢で見ると、父親が4歳児45%、5歳児51%、母親は4歳児36%、5歳児41%である。5歳児の父親がかろうじて半数を上回っているのをのぞけば、他はすべて半数以下であり、特に母親はしつけに自信をもてない割合が61%と高い。前回調査で自信があると答えた父親は4歳児41%、5歳児51%、母親は4歳児39%、5歳児35%であった。前回調査では年齢が高くなると、自信のある母親が減っていたが、今回は父母ともに5歳児の方が4歳児より自信を持つ親が若干増えている。子育ての経験を積み重ねる中で、少しずつ親の中にも自信が育ってくるものと思われる。



### (2) しつけの甘さ

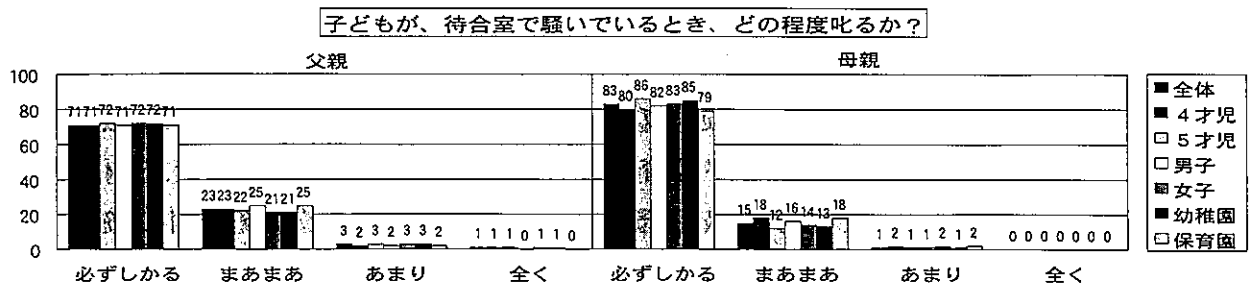
しつけに関して「大変甘い方だと思う」「まあまあ甘い方だと思う」と回答した父親は62%、母親46%である。前回調査でも父親64%・母親53%で、一貫して多くの父親がしつけの甘さを自

覚している。生活面で細かい部分にまで関わっている母親に比べ、ふれ合う時間が短い父親はどうしても甘くならざるを得ないということもあろう。年齢別にみると、父親は3・4・5歳の間にはほとんど差がないが、母親は3歳児52%、4歳児49%、5歳児45%と加齢とともに減少している。また父親は男児58%・女児66%、母親は男児50%・女児43%と、ともに異性の子に対する方が甘くなるという点が特徴的である。幼稚園児・保育園児では父親に差は見られないが、母親は幼稚園児44%・保育園児34%となっている。就労していない母親は、子どもと接する時間も長く、つい子どもができることにまで手をかけてしまうという自覚があることが考えられる。



### (3) 叱り方

社会人として親のすべきことに関する認識があやふやになっていると、子どもも社会化に必要なマナーを身につける機会を逸してしまう。「あなたはお子さんが病院の待合室でさわいでいる時、どの程度しかりますか。」という問いに、「必ず叱る」は父親71%・母親83%、「まあまあ叱る」は父親23%・母親15%であった。年齢や男女、幼稚園・保育園間に差異はみられなかった。大半の親が注意するよう心がけていると思われるが、明らかに迷惑な問題行動に対して、「まあまあ叱る」というあいまいな対応の父親と、「あまり叱らない」「全く叱らない」という父親を合わせると3割近くになる点が気になる。“公共の場で他人に迷惑をかけている子どもがいても、そばにいて叱らない親が増えている”とよくいわれるように、昨今の親の責任が問われている。他者に対する配慮や注意しなければならない子どもの行動についての認識は、世代間や個人間でばらつきがある。しかし自己中心的な視点しか持ち合わせていない子どものために、こうしたマナーを教えることは親の責任であるという自覚のもとに、節度ある態度で臨んでほしいものである。



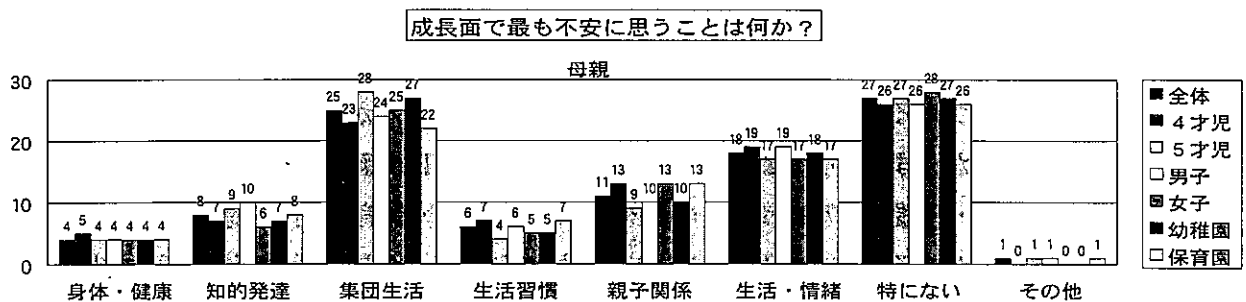
### 3. 養育の悩み

子どもをめぐる環境の変化や価値観の多様化がめまぐるしい時代である。その中であって、親

はわが子の成長に合わせた養育の在り方を模索し、選択しなければならない。また親の期待と目の前の子どもの状態が一致していないことが多いのも現状であろう。こうした養育の課題に向かうことには少なからずストレスを伴う。養育の悩みについて、その実態を「養育の不安」「不安の解消法」「虐待」「孤立」という4つの設問から浮き彫りにしてみたい。このうち「虐待」「孤立」は今回新たに加えた設問である。

### (1) 養育の不安

「あなたが、お子さんの成長面で、今、最も不安に思ったり困ったりしていることは何ですか」という問いに対して回答の多い項目をみると、父・母とも「特にない」「集団生活」「性格・情緒」「親子関係」という順になっている。それぞれの回答率は、父親が35%・30%・11%・9%、母親が27%・25%・18%・11%である。この順番は前回調査とも一致している。項目別にみると、集団生活において年齢間に差が見られ、父親では3歳児23%、4歳児27%、5歳児32%と年齢が上がるほど、不安は高くなっている。同様に母親も3歳児20%、4歳児23%、5歳児28%となっており、小学校への入学が近づくにつれ、集団生活への意識も高まるようである。また幼稚園児をもつ母親の集団生活に対する不安は27%、保育園児は22%となっている。ここでの相違は入園前の母子中心の生活と関連があると思われる。

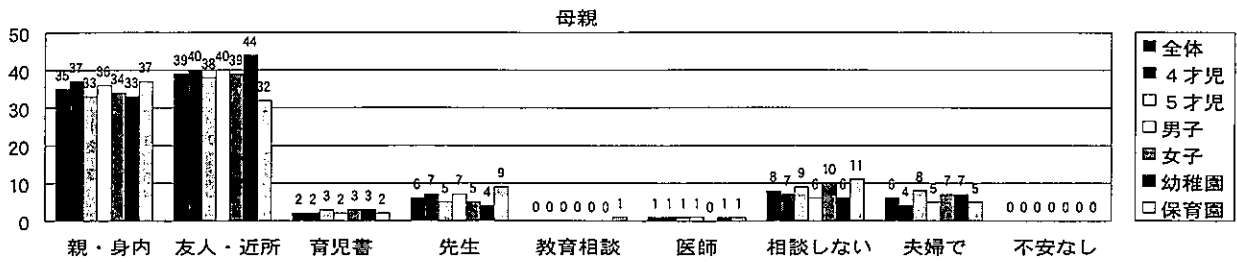


### (2) 不安の解消法

子育て支援の必要性の認識が高まる中、託児・育児相談・ファミリーサポートなどさまざまな形で地域にサポートシステムが展開され始めた。実際に不安を解決するにあたって、幼児の親達は、その援助をどこに求めているのであろうか。「あなたは、育児で困ったり、不安に感じたことを主にどのように解決していますか」という問いに対して、父親で最も多い回答は「相談せずに自分で考えて」が44%、相談するなら「親などの身内の経験者」が21%、3番目に「友人や近所の育児経験者」が11%であった。母親は「友人や近所の育児経験者」が39%と最も多く、続いて「親などの身内」が36%になっている。「夫婦で相談」という割合は、父母ともに6%と低い。幼稚園児の母親は「友人や近所の育児経験者」に相談する割合が44%と、保育園児の母親の32%より多く見られる。一方、保育園児の母親に多い項目は、「自分で考える」と「園の先生に相談する」である。就労している母親は、友人や近所の人と交流する時間を確保することも難しい。一人で考えても解決できないことも多く、夫婦での話し合いを充実させ、わが子の日常をよく知っている保育者が具体的な相談にのってくれると心強い。また他の機関も親が気軽に相談できるような工夫が必要であろう。



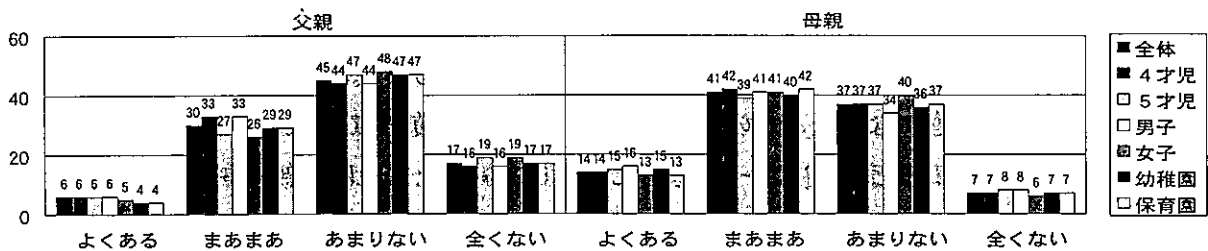
育児の不安をどのように解決しているか？



(3) 虐待

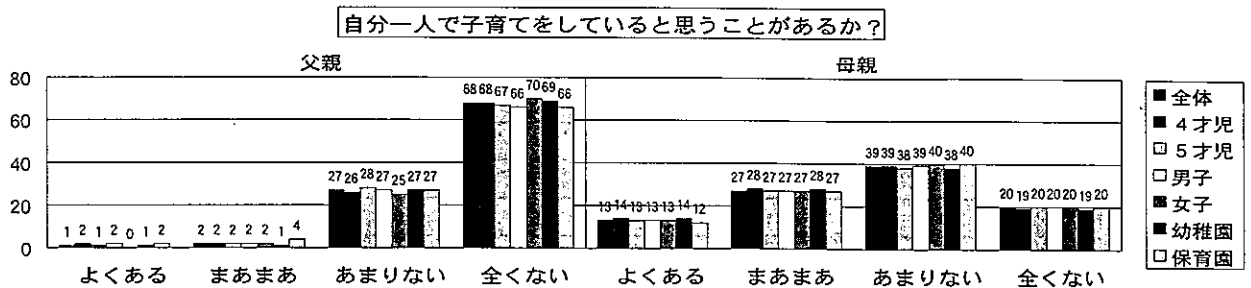
養育の過程で生じるストレスなどにより、子どもに対する感情が否定的になったり、親としての自覚が不安定になると、そのはけ口は弱い立場の子どもに向けられやすい。また感情のおもむくままに暴力をふるっても、それがしつけと勘違いされやすい。いずれにしても子どもに対する否定的な感情がわいてきたときに、親としてどのように自分の行為を律するか、日頃から省みておきたい。子育てにおいてイライラしたりして、お子さんをたたいたりしたいと思うことが「よくある」「ときどきある」という回答は父親は36%、母親は55%であった。母親の半数以上が子どもを攻撃したくなる感情を持ち合わせているということである。虐待の件数は年々増加する一方である。行動化する前の段階で危険性のある母親をスクリーニングし、フォローできるような体制づくりが急務である。また2歳以下の乳幼児に対して攻撃的な感情をいなく母親は48%と半数以下であったが、今回の調査対象は保育園児のみなので、乳幼児をもつ母親の全体的な傾向とはとらえにくい。父親にはここでも男女児間に差があり、男児39%・女児31%と同性の子どもの方に多く攻撃的な感情が表れやすい。

子どもをたたいたりしたいと思うことがあるか？



(4) 孤立

乳幼児期の子育てには、かなりの時間と労力、精神力が必要とされる。核家族化が進む中で、地域や組織の育児支援をうまく活用できない場合、親はそれらの負担を一手に引き受けなければならない状態に追い込まれる。「あなたは、自分ひとりで子育てしていると思うことがありますか」に対して、「よくある」「まあまあある」と答えた父親は3%、それに対して母親は40%である。約4割の母親が孤立感を感じている点は留意すべきである。育児不安の解決において夫婦での相談が少ないことから、育児に対する父母の協力体制の弱さが伺われる。不況の現在、仕事上の負担も重くなる父親をあてにできず、母親が一人で子育てを抱え込まざるを得ない状況が推測される。



#### 4. まとめ

親の養育意識を、養育の目標、自己評価、養育の悩みの3つの側面から示した。

4・5歳児の父母は、兄弟やよその子と比較して注意するよりも、率直にその子を見て、しつけようとする意識の方が高い。また男だから女だからという区別はこの時期それほど高くない。

しかし、その中でも父母間に違いがみられ、母親の方が父親より他児と比較することが多い。

一方、性の区別については父親の方が意識しており、男児に男らしさを期待している。養育上で気を配っている内容は父母ともに一致しており、思いやりや基本的な生活習慣など、幼児期に大切な発達課題を意識している。習い事の数には園によって差があり、それぞれの地域の特色が反映されていると思われる。習い事の数や内容の選択にあたっては、あくまでも子どもの主体性や意欲を重視した上で、それらに費やす時間のために子どもの生活リズムを壊したり、親子のふれあいの時間を圧迫することのないよう心がけたい。

半数前後の親がしつけに自信をもてないでいる。母親は特にその傾向が強い。同様にしつけが甘いと自覚している親も半数近い。しつけの自信と甘さの相関関係をみると、まあまあ甘いと自覚している親は自信があまりないという親にもっとも多かった。自信のない親は一貫した態度でしつけに臨むことが困難であり、そのことがしつけの甘さにも反映される。

また公共の場で迷惑になる子どもの行為に対して、節度ある態度で叱れない親が3割近くいる。しつけの甘さが現代の子どものマナーの悪さに関連しているとするれば、親は一貫した態度で、きちんとしつけられるよう自信と責任をもつ必要がある。

成長面で最も不安になることは、父母ともに集団生活である。この項目ではしつけが甘いと自覚している親の割合が高く、しつけの甘さが集団適応に必要な協調性や自立性を身につける上で妨げになっている可能性も考えられる。育児不安の解決法として父親は自分で考え、母親は友人や身内の育児経験者に相談している。身近な家族や友人は気軽に話せる相談相手として選ばれやすいであろう。気になるのは、夫婦で相談することが少ない点である。

夫婦の相互理解はお互いの精神的な安定につながるものであり、家庭の中で一貫した養育態度を示すのに不可欠である。父親が実際的な養育活動に参加する時間をとれないとしても、夫婦間で話し合う時間、あるいは父親以外に気楽に相談できる人は最低限確保したいものである。それによって父親の理解や協力的な姿勢が得られれば、母親の孤立感や、虐待にまで駆り立てられる育児上のストレスも大幅に軽減されると思われる。

## ◆第5章 結論と今後の課題

今回は5年前の前回に継続して2回目の4・5歳児の親の養育についての調査結果に基づきながら課題を明確にし、養育における留意点を示す。その際、今回調査対象として加えた0歳から3歳までの親への調査結果を参照すると共に、多変量解析の一つである因子分析法という統計的手法を用い、総合的な分析も併せて行った。

ここまでの4章では家庭教育における回答項目を養育態度、親子の交流と養育意識に区分して示しているが、実態としてこれらの質問での態度や意識でのつながりが、どのような構造になっているのか、つまり親の自己評価がいかなる構造で構成されているのかを明らかにするため、多変量解析を行う。多変量解析という手法は、多くのデータをその回答パターンの違いによって、相互の関連性を数字で示していくものである。今回はその中の因子分析法を使った。この因子分析法は、今回の調査で言えば、親の自己評価についてのさまざまな質問項目の相互関連の強さを回答の推移によって分析し、それらの質問項目の背後に潜む共通の因子（要因）を探る統計的手法である。今回は特に29の質問項目の中で回答形式の異なる問11, 17, 20, 21, 23, 25を除いた23の質問項目を分析の対象とした。

この統計的手法により示されている次ページの表1の内容は、回答パターンがコンピュータ処理によって科学的に取り出されたものであり、意図的にまとめたものではなくデータとして統計的に析出されたものである。家庭教育全般への影響力を示す因子の順番は、因子としての強さの順位を示しており、その数量値は表1に負荷量平方和として示している因子中の各回答ごとの数値もその因子の中での各回答の位置づけの強さを表している。

### 1. 子育てを喜べる子育てを

表1に示されている第1の因子は、「あなたは、子育てが楽しいと思うことがありますか」「あなたは、お子さんが話しかけてきた時、聞いてあげていますか」「あなたは、お子さんをほめてやることがありますか」といった子育てに関わる「充実性」に関わる因子である。家庭教育全般に対して最も重要と考えられるのは親が家庭教育に充実して関わっているという評価をくだしていることであった。特にその中でも親自身が「子育てが楽しい」と感じている状況が影響力を持つのである。子育てのための環境整備は不可欠であるが個々に状況の異なる親自身の楽しさ、あるいは楽しさを自分で作り出せる力量が基本となるということである。楽しさとつながることとして、まず子どもの話を聞くこと、次にほめることやスキンシップをすること、など具体的な態度が認められ、最後にこれも自分自身の感じることでしつけに自信をもつことなどがある。子どもとの基本的な支援的交流を育みながら、前向きに自信をもって自分なりに子育てしていくことが今後求められていくことである。

### 2. 管理ではなくしっかりしつけを

第2の因子は、「あなたは、お子さんを兄弟やよその子を引き合いにして注意したり叱ったりすることがありますか」「あなたは、お子さんに、ああしなさい、こうしなさい、と言っていますか」「あなたは、お子さんを叱ることがありますか」といった「管理性」に関わる因子である。こ

ういった内容はしつけとしては必要ではあるが、意味合いはまるで逆のものがあるということに留意しておく必要がある。回答の形式をみるとわかるように、兄弟やよその子を比較して注意したり、「ああしなさい、こうしなさい」ということと、言葉について注意したり、しかる、ということは反対の傾向を示しているのである。つまり叱ることと兄弟比較や命令は子育てとしては相反することなのであり、本来の叱るという子育てをしていくためには、言葉の注意を的確に行い、命令や兄弟比較を避けることが求められる。

表 1 因子行列表

質問項目	因 子							
	充実性	管理性	孤立・不安性	無自制性	生活指導性	委託性	人間関係性	保護性
子育てを楽しんでいると思う	0.655							
子どもが話しかけてきた時間聞いてあげる	0.647							
子どもをほめてやることができる	0.638							
スキンシップをしている	0.63							
しつけに自信がある	0.443							
他の子との比較		0.658						
子どもに命令する		0.600						
叱ることがあるか		0.508						
言葉の注意をする		0.451						
自分一人で子育てをしていると感じる			0.701					
仲の良い友達の認知			0.538					
子育てにおいてイライラするか			0.463					
男の子だから、などという注意の仕方をする				0.722				
しつけに甘い				0.717				
洗顔、歯磨きをどのようにさせているか					0.750			
後片付けをどのようにさせているか					0.737			
習い事をさせているか						0.647		
遊ばせるグループに参加する						0.573		
お手伝いをさせているか							0.752	
基本的挨拶のしつけ							0.628	
起床の仕方								0.794
用意の仕方								0.560
負荷量平方和	10.085	7.467	6.138	5.980	5.542	5.220	4.939	4.648

因子抽出法：主成分分析

回転法：Kaiserの正規化を伴うバリマックス法

8回の反復で回転が収束しました

### 3. 孤立・不安へはつながりを届けて

第3の因子は、「あなたは、自分ひとりで子育てをしていると思うことがよくありますか」「あなたは、お子さんの仲のよい友達を知っていますか」「あなたは、子育てにおいてイライラしたりして、お子さんをたたいたりしたいと思うことがどの程度ありますか」といった「孤立・不安性」に関わる因子である。現在、親が孤立化しており、ネットワークの必要があると言われるが、この第3の因子は、現代の問題を如実に表している。孤立感というのが子育てに大きな影響を与えているということは明確になったのだが、そこで、関連しているのはまず親自身が子どもの友達を知り、その親ともつながっていくという、子どもを通じてのネットワークをつくらうという意識がないことである。そして、このことは次にはそのまま子どもを叩きたいという虐待の方向へと向かってしまうということである。今回、質問項目として付け加えられた電話相談機関の認知についても、孤立化していたり、たたいたりしたい、という親は、必ずしも相談機関を知っているわけではない。一つは知ろうとしてないということがあり、選択肢の一つとして不安や虐待意識が出たら、「いろいろ相談してみよう」という親となる者への教育が早急に必要である。もう一つは、不安になっている親をできるだけ察知し、様々な支援を差し伸べていくことが求められる。待っているのではなく親の問題行動が起こる前に親に関わるのが大切である。

子どもの習い事に関わる結果からは、習い事を通じて相談できるようにはなるが孤立感是不会変わらないという結果であった。習い事では話はするが、競争になってしまうこともあり、地域や親自身の学習サークルなどによる活動が求められよう。

今回、保育園児の親を対象としたこともあって、0歳から2歳の親が虐待や不安において厳しい状況にあるという結果はみられなかったが、保育園に行っていない親の孤立・不安感が高いことは推測され、要注意である。

### 4. 性区別せず、しつけは節度をしっかり

第4の因子は、「あなたは、お子さんを、男の子だから、女の子だから、と言って注意することがありますか」「あなたは、お子さんのしつけに甘いほうですか」といった「無自制性」に関わる因子である。安易に従来の固定的な性別役割を子育てに利用するということとしつけへの甘さは関連しており、男女でなく人間として何を最低限教えていくべきなのかを、厳しくとも親自身が自省し、実行していくことが求められる。

### 5. 生活基本指導は、反復、継続、そして親から

第5の因子は、「あなたは、お子さんに洗顔や歯磨きをどのようにさせていますか」「あなたは、お子さんが遊んだ後の後片付けをどのようにさせていますか」といった「生活指導性」に関わる因子である。この因子は家庭における具体的な子どもの活動による生活習慣形成に関わるものといえる。家庭教育においてはこういった基本的な生活習慣を継続的に、そして反復して育てていくことが重要であることが示されているといえる。

### 6. もっと親の学習を広げて

第6の因子は、「あなたのお子さんは、習い事（スポーツ、ピアノ、英会話、習字、学習塾など）に行っていますか」「あなたは、お子さんを幼稚園、保育園（所）以外で一緒に遊ばせるグループがあったら、参加する気持ちはありますか」といった「委託性」に関わる因子である。習

い事にたくさん行かせることと、親たちの自主活動である子育てのサークルにしたいという気持ちは相反しているという調査結果であった。習い事に行かせていると、時間がとられて、そういったサークルに参加するどころではない、という実態もあろう。ただし、習い事に3つ以上行かせている場合、子育てが「楽しい」と感じる割合が高くなる結果が出ている。教育の委託によって親に余裕ができるということもあろうが、親子を一体的に見てしまったり、子どもに対する過度な期待による「楽しさ」であるとすると問題が残る。4、5歳で約6割、保育園に行っている0歳から2歳の子どもにおいてもふだん2時間以上テレビを見せている割合が約4割ある。読み聞かせを行うなど親自身が子どもと直接交流することが求められよう。

#### 7. 手伝いとあいさつは人間関係の基本

第7の因子は、「あなたは、お子さんにどのようにお手伝いをさせていますか」「あなたは、お子さんに、はい、ありがとう、おはよう、などの基本的挨拶をどのようにしつけていますか」といった「人間関係性」に関わる因子である。この因子はまさに人間づくりに関わるものといえる。子どもはお手伝いなどの役割を与えられることにより、自分の存在感を得ることができ他人に役立つことの喜びを実感し、基本的挨拶のしつけによって自己表現し他人と交流していく基本を学んでいくのである。特に回答項目中にある、親から言ってみせるということが重要であり、子どもはまずまねて学ぶということを家庭教育では留意しておく必要がある。

#### 8. 過保護と甘さは自制して

第8の因子は、「あなたは、今朝お子さんをどのように起こしましたか」「あなたは、お子さんが幼稚園、保育園に出かけるとき、用意をどうしていますか」といった「保護性」に関わる因子である。前回調査との比較でいうと父親が保護する割合が増えているということである。男女共同参画という視点から好ましいが、母親に比べて「甘い」と自覚する割合が高い父親が単なる過保護過干渉にならないように注意することが求められる。

最後に、今回、新しく質問項目として入れたテレビなどのメディアと子どもについて述べておく。子育ての強力なライバルとなるのが、テレビ・ビデオ・ゲームなどのメディアであり、子どもたちをとらえて離さないメディアの魅力に対して親は心してかかる必要がある。本調査でもふだん1日に2～3時間見せている親が最も多く、この状態は幼稚園だけでなく、保育園も同様の結果であった。ふれあい求められる中、父親のふれあいの時間は前回調査よりも減少しているという結果を、労働時間の短縮など社会全体として変えていく意識や具体的実践での方向が一つは求められる。

テレビを遅くまで見ている子どもは生活のリズムがおかしくなり、成長などへの影響が出てしまうこともある。夜の8時以降は子どもが静かに寝られるように一度テレビを消すなど家族の協力が求められる。親も見たいこともあり、テレビなどのメディアを完全に否定するのではなく、本の読み聞かせを増やしたり戸外での遊びを拡充したりと、直接体験やコミュニケーションとのバランスをとることが大切である。

せめて平日は1時間以内という制限、共に見ること、番組について子どもと話をすること、食事の時にはテレビなどを消すこと、少しずつ子どもに自己決定能力をつけさせていくことが必要不可欠である。直接体験による失敗する自由を保障していく環境づくりこそ、今の家庭教育に求められよう。

# 資 料 編

平成12年度 幼児（3・4・5歳）をもつ保護者のしつけに関する  
アンケート調査実施要項

1 調査の趣旨

子どもに対する保護者の養育態度・意識は、子どもの意欲や自主性・耐性などの健全な発達に大きく関係しているといわれている。

このような観点から、保護者が具体的な生活の場面で子どもにどのようにかかわっているのか、その実態を明らかにしていくことは、今後の家庭教育の在り方を探求していくうえで極めて重要な課題である。

そのため、平成7年度に4・5歳児をもつ保護者を対象に「4・5歳児をもつ父親・母親の養育態度・意識の実態調査」を実施した。この中で、親の養育はおおむね健全にすすめられているが、親子関係を中心とした子育ての不安をもっていることが明らかになった。

本年度は、前回と同趣旨で、4・5歳児をもつ父親・母親の養育態度・意識の実態についての調査を実施し、5年間の保護者の養育態度・意識の変化を比較検討するとともに、新たに3歳児の子どもをもつ親の養育態度・意識も併せて調査し、今後の福岡県の家庭教育の充実振興に資するものとする。

2 調査の実施者

福岡県立社会教育総合センター

3 調査の対象及び人数

県内8地区の4歳児の保護者671名、5歳児の保護者509名、及び3歳児の保護者626名、計1,806名を対象に調査を行う。

4 調査の実施期間

平成12年9月1日～29日

5 調査の方法

3・4・5歳児とも男性の保護者用、女性の保護者用の質問形式の調査票により行う。ただし、同一内容とする。

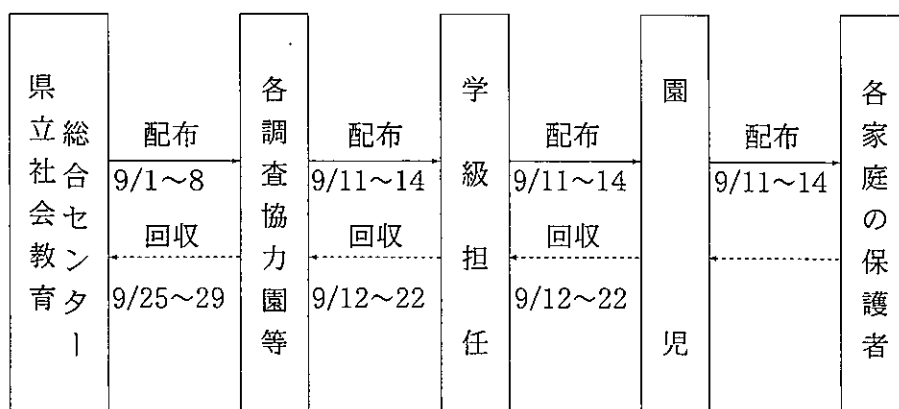
(1) 調査票の配布

調査票は、県立社会教育総合センターが直接各調査協力幼稚園、保育園（所）に持参し、学級担任をとおして各家庭に配布する。



(2) 調査票の配布及び回収

調査票は、各家庭の保護者から学級担任をとおして、各調査協力幼稚園、保育園（所）ごとに県立社会教育総合センターが回収する。



6 調査票

調査票は、3歳児の男性の保護者用をもえぎ色、女性の保護者用をオレンジ色、4歳児の男性の保護者用を水色、4歳児の女性の保護者用を桜色とし、5歳児の男性の保護者用をぞうげ色、5歳児の女性の保護者用を藤色とする。

7 調査結果の処理

調査結果を家庭教育指導資料としてまとめ、関係機関・団体等に配布する。

8 調査協力園（所）の基本的対象者数

	幼稚園		保育園（所）		計
福岡市	4歳児の保護者 3歳児の保護者	161名 50名	5歳児の保護者 3歳児の保護者	59名 48名	318名
北九州市	5歳児の保護者	92名	4歳児の保護者 3歳児の保護者	67名 69名	228名
福岡教育事務所管内	5歳児の保護者	105名	4歳児の保護者 3歳児の保護者	154名 132名	391名
北九州教育事務所管内	4歳児の保護者 3歳児の保護者	33名 34名	5歳児の保護者 3歳児の保護者	67名 57名	191名
北筑後教育事務所管内	5歳児の保護者	83名	4歳児の保護者 3歳児の保護者	44名 42名	169名
南筑後教育事務所管内	4歳児の保護者 3歳児の保護者	98名 69名	5歳児の保護者 3歳児の保護者	11名 18名	196名
筑豊教育事務所管内	4歳児の保護者	64名	5歳児の保護者 3歳児の保護者	69名 55名	188名
京築教育事務所管内	5歳児の保護者 3歳児の保護者	23名 19名	4歳児の保護者 3歳児の保護者	50名 33名	125名

9 調査協力幼稚園・保育園（所）

教育事務所 政令市	幼稚園名 保育所名	教育事務所 政令市	幼稚園名 保育所名
福岡市	福岡市立和白幼稚園 福岡市立雁の巣幼稚園 福岡市大濠聖母幼稚園 福岡市屋形原保育園	北筑後 教育事務所	小郡市立三国幼稚園 北野町立中村保育所 北野町立大城保育所
北九州市	北九州市立足原幼稚園 北九州市立小倉南幼稚園 北九州市花かご保育園 北九州市広済寺保育園 北九州市大川保育園	南筑後 教育事務所	大川市立大野島幼稚園 大川市立東大川幼稚園 大川市立木室幼稚園 大川市立川口幼稚園 大和町六合保育園
福岡 教育事務所	篠栗町立篠栗幼稚園 篠栗町立北勢門幼稚園 粕屋町立仲原保育所 粕屋町立粕屋西保育所 粕屋町立大川保育所 粕屋町立粕屋中央保育所 大野城市平野保育園	筑豊 教育事務所	田川市立伊田幼稚園 田川市立後藤寺幼稚園 田川市紅百合保育園 田川市立西保育所 田川市松原保育園
北九州 教育事務所	中間市中間幼稚園 中間市中間中央幼稚園 鞍手町立剣第一保育所 鞍手町立剣第二保育所 鞍手町立古月保育所 鞍手町立西川第一保育所 鞍手町立西川第二保育所	京築 教育事務所	苅田第一幼稚園 豊津町立豊津保育所 豊津町立祓郷保育所 豊津町立節丸保育所

幼稚園数：17園 保育園（所）数：23園（所）

10 0・1・2歳児をもつ保護者のしつけに関するアンケート調査について

乳児期に関する実態を把握する必要から、今回のアンケート調査とあわせて、調査協力保育園(所)の0歳児の保護者44名、1歳児の保護者95名、2歳児の保護者130名、計269名の保護者を対象に、乳児をもつ保護者用のアンケート調査用紙を作成し調査を実施する。

(基本的対象者数)

福岡市	2歳児の保護者	40名		40名
北九州市	2歳児の保護者	31名	1歳児の保護者	29名 60名
福岡教育事務所管内	2歳児の保護者 0歳児の保護者	17名 22名	1歳児の保護者	32名 71名
北九州教育事務所管内	2歳児の保護者 0歳児の保護者	14名 5名	1歳児の保護者	7名 26名
北筑後教育事務所管内	2歳児の保護者	5名	0歳児の保護者	4名 9名
南筑後教育事務所管内	1歳児の保護者	15名		15名
筑豊教育事務所管内	2歳児の保護者 0歳児の保護者	10名 12名	1歳児の保護者	10名 32名
京築教育事務所管内	2歳児の保護者 0歳児の保護者	13名 1名	1歳児の保護者	2名 16名

## アンケート調査のお願い

残暑の候、みなさまには、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、福岡県教育委員会では、本県における家庭教育の充実を図るために、家庭教育に関する調査研究をすすめております。

家庭教育は、お子さんの成長にとって重要な役割を担っているといえます。したがって、家庭の中での保護者のみなさまが、お子さんに対してどのようなかかわり方をしておられるのか、その実態を知ることはいずれからの望ましい家庭教育の在り方を研究していくうえで、大切な手がかりを与えてくれるものと思われまます。

このような趣旨で、お子さんの幼稚園・保育園（所）をとおして、「幼児をもつ保護者の子育て」についてのアンケート調査をお願いすることになりました。

お忙しいとは存じますが、御協力くださいますようよろしくお願いいたします。

なお、この調査は、あくまで事実に基づく全体的な傾向を知ろうとするものです。ありのままを記入していただければ幸いです。

また、調査結果については、すべてコンピューターで処理をいたしますので、みなさまに御迷惑をかけることは一切ありません。

調査用紙は、5歳児の男性の保護者用（象牙色）、女性の保護者用（藤色）、4歳児の男性の保護者用（水色）、女性の保護者用（桜色）、3歳児の男性の保護者用（もえぎ色）、女性の保護者用（オレンジ色）に分かれていますので、必ず別々に御記入ください。

回答が終了しましたら、記入もれがないか確認されまして、男性の保護者用・女性の保護者用を同一の封筒に入れ、密封のうえお子さんをとおして幼稚園・保育園（所）へ提出してください。

どうぞよろしくお願いいたします。

## 幼児（3・4・5歳）をもつ保護者の子育てに関するアンケート

次の表の該当する番号を○で囲んだ後に、アンケートにお答えください。なお、答えは全問とも  
選択肢からもっともあてはまるものを1つだけ選んでください。

お子さんの性別	お子さんのきょうだい の中での位置及び年齢	記入者	記入者の年齢	祖父母との 同居の有無
1. 男	1. 1人 2. ( )人きょうだいの ( )番目	1. 父親 2. 母親 3. 祖父	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代	1. 有
2. 女	1. 満3歳 2. 満4歳 3. 満5歳	4. 祖母 5. その他	4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代以上	2. 無

1. あなたは、今朝お子さんをどのように起こしましたか？
  1. 声をかけた
  2. 目覚ましで起きた
  3. 起こす前に自分で起きた
  4. 起きるまで放っておいた
  
2. あなたは、お子さんに洗顔や歯磨きをどのようにさせてますか？
  1. 言わなくてもしている
  2. 言ってさせている
  3. 手伝ってさせている
  4. しなくても子どもに任せている
  
3. あなたは、お子さんが幼稚園・保育園に出かけるとき、用意をどうしていますか？
  1. 言わなくてもしている
  2. 言ってさせている
  3. 手伝ってさせている
  4. してやっている
  
4. あなたは、お子さんが遊んだ後の後片づけをどのようにさせてますか？
  1. 言わなくてもしている
  2. 言ってさせている
  3. 手伝ってさせている
  4. してやっている
  
5. あなたは、お子さんに「はい」「ありがとう」「おはよう」などの基本的挨拶をどのようにしつけてますか？
  1. 言わないときに注意する
  2. 言えたときにほめてやる
  3. 注意はしないが親から言ってみせる
  4. ことさらしつけてはいない
  
6. あなたは、お子さんの言葉の乱れや流行語の使用を、きちんと注意してますか？
  1. 厳しく注意している
  2. 一応注意している
  3. あまり注意していない
  4. 全く注意していない

7. あなたは、お子さんにどのようにお手伝いをさせてますか？
1. 決まったお手伝いをさせている
  2. 特に決めていないがさせている
  3. 無理なのであまりさせていない
  4. 全くさせていない
8. あなたは、お子さんの仲のよい友達を知っていますか？
1. よく知っている
  2. だいたい知っている
  3. あまり知らない
  4. 全く知らない
9. あなたは、お子さんをほめてやることがありますか？
1. よくある
  2. まあまあある
  3. あまりない
  4. 全くない
10. あなたは、お子さんに「ああしなさい、こうしなさい」と言っていますか？
1. よく言っている
  2. まあまあ言っている
  3. あまり言っていない
  4. 全く言っていない
11. あなたが、ふだん1日にお子さんとふれあう時間の合計はどのくらいですか？
1. 1時間以下
  2. 1～2時間
  3. 2～3時間
  4. 3～4時間
  5. 4～5時間
  6. 5～6時間
  7. 6時間以上
- \*そのふれあいの内容を具体的に書いてください  
( )
12. あなたは、お子さんが話しかけてきたとき、聞いてあげていますか？
1. いつも聞いている
  2. まあまあ聞いている
  3. あまり聞いてない
  4. ほとんど聞いてない
13. あなたは、お子さんをしかることがありますか？
1. よくある
  2. まあまあある
  3. あまりない
  4. 全くない
14. あなたは、お子さんとおんぶやだっこでスキンシップをしていますか？
1. よくしている
  2. まあまあしている
  3. あまりしていない
  4. ほとんどしていない

15. あなたは、お子さんをきょうだいやよその子を引き合いにして注意したり叱ったりすることがありますか？
1. よくある
  2. まあまあある
  3. あまりない
  4. 全くない
16. あなたは、お子さんを「男の子だから」「女の子だから」といって注意することがありますか？
1. よくある
  2. まあまあある
  3. あまりない
  4. 全くない
17. あなたが、お子さんを育てる上で、今、最も気を配っていることは次のうちどれですか？
1. 友達との関係
  2. 基本的生活習慣
  3. 自主性（自分で判断する）
  4. 積極性（物事に取り組む）
  5. 忍耐力（我慢する）
  6. 知的意欲
  7. 人や物への思いやり
  8. 特にない
  9. その他（ ）
18. あなたは、お子さんのしつけに自信がありますか？
1. 大いにある
  2. まあまあある
  3. あまりない
  4. 全くない
19. あなたは、お子さんのしつけに甘い方ですか？
1. 大変甘い方だと思う
  2. まあまあ甘い方だと思う
  3. あまり甘くない方だと思う
  4. 全く甘くない方だと思う
20. あなたが、お子さんの成長面で、今、最も不安に思ったり困ったりしていることは何ですか？
1. 動作が遅いなどの身体の発達に関することや虚弱などの健康に関すること
  2. 話す、書く、読むことなど、知的発達に関すること
  3. 友だちとの遊びやいじめなど、集団生活に関すること
  4. 服の着方や排便・おねしょなど生活習慣に関すること
  5. 反抗や甘えなど、親子関係に関すること
  6. 粗暴・飽きっぽい・内気など、性格・情緒に関すること
  7. 特にない
  8. その他（ ）
21. あなたは、育児で困ったり不安に感じたことを主にどのように解決していますか？
1. 親など身内の育児経験者に相談して
  2. 友人や近所の育児経験者に相談して





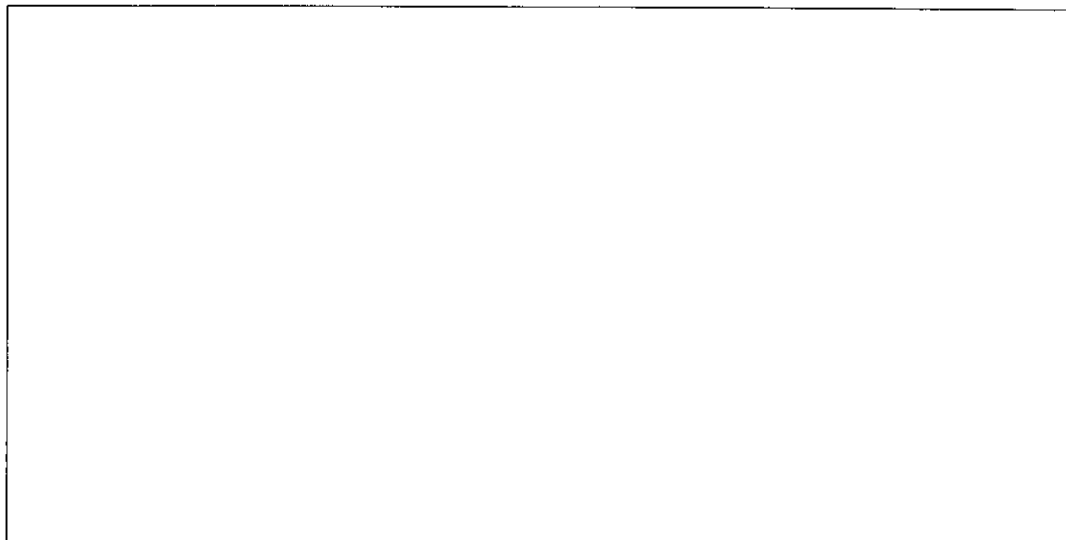
28. あなたは、子育てが楽しいと思うことがありますか。

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. よくある  | 2. まあまあある |
| 3. あまりない | 4. 全くない   |

29. あなたは、自分ひとりで子育てをしていると思うことがありますか。

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. よくある  | 2. まあまあある |
| 3. あまりない | 4. 全くない   |

30. 子育てについて、お悩みや御意見等がありましたらどのようなことでも結構です、御記入ください。



御協力ありがとうございました。

— 0・1・2歳児の保護者のみなさまへ —

## アンケート調査のお願い

残暑の候、みなさまには、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、福岡県教育委員会では、本県における家庭教育の充実を図るために、家庭教育に関する調査研究をすすめております。

家庭教育は、お子さんの成長にとって重要な役割を担っているといえます。したがって、家庭の中での保護者のみなさまが、お子さんに対してどのようなかかわり方をしておられるのか、その実態を知ることはこれからの望ましい家庭教育の在り方を研究していくうえで、大切な手がかりを与えてくれるものと思われまます。

このような趣旨で、お子さんの幼稚園・保育園（所）をとおして、「乳幼児をもつ保護者の子育て」についてのアンケート調査をお願いすることになりました。

お忙しいとは存じますが、御協力くださいますようよろしくお願いいたします。

なお、この調査は、あくまで事実に基づく全体的な傾向を知ろうとするものです。ありのままを記入していただければ幸いです。

また、調査結果については、すべてコンピューターで処理をいたしますので、みなさまに御迷惑をかけることは一切ありません。

調査用紙は、2歳児の男性の保護者用（桃色）、女性の保護者用（黄色）、1歳児の男性の保護者用（肌色）、女性の保護者用（空色）、0歳児の男性の保護者用（クリーム色）、女性の保護者用（若草色）に分かれていますので、必ず別々に御記入ください。

回答が終了しましたら、記入もれがないか確認されまして、男性の保護者用・女性の保護者用を同一の封筒に入れ、密封のうえお子さんをとおして幼稚園・保育園（所）へ提出してください。

どうぞよろしくお願いいたします。

## 乳幼児（0・1・2歳）をもつ保護者の子育てに関するアンケート

次の表の該当する番号を○で囲んだ後に、アンケートにお答えください。なお、答えは全問とも選択肢からもっともあてはまるものを1つだけ選んでください。

お子さんの性別	お子さんのきょうだい の中での位置及び年齢	記入者	記入者の年齢	祖父母との同居の有無
1. 男	1. 1人	1. 父親 2. 母親 3. 祖父 4. 祖母 5. その他	1. 10歳代	1. 有
	2. ( )人きょうだいの ( )番目		2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代	
2. 女	1. 0歳	5. その他	5. 50歳代	2. 無
	2. 満1歳		6. 60歳代以上	
	3. 満2歳			

1. あなたは、お子さんをほめてやることがありますか？
  1. よくある
  2. まあまあある
  3. あまりない
  4. 全くない
  
2. あなたが、ふだん1日にお子さんとふれあう時間の合計はどのくらいですか？
  1. 1時間以下
  2. 1～2時間
  3. 2～3時間
  4. 3～4時間
  5. 4～5時間
  6. 5～6時間
  7. 6時間以上

\*そのふれあいの内容を具体的に書いてください  
( )
  
3. あなたは、お子さんとおんぶやだっこでスキンシップをしていますか？
  1. よくしている
  2. まあまあしている
  3. あまりしていない
  4. ほとんどしていない
  
4. あなたは、子育てについての電話相談機関をいくつ知っていますか。
  1. 知らない
  2. 1つ
  3. 2つ以上

\*機関の名前を知っているときは、その名称をみんな書いてください。  
( )
  
5. あなたは、お子さんをしかることがありますか？
  1. よくある
  2. まあまあある
  3. あまりない
  4. 全くない

6. あなたは、お子さんにふだん一日にどのくらいテレビ（ビデオも含めて）を見せていますか。

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 1時間以下 | 2. 1～2時間 | 3. 2～3時間 |
| 4. 4～5時間 | 5. 4～5時間 | 6. 5～6時間 |
| 7. 6時間以上 |          |          |

7. あなたは、子育てにおいてイライラしたりして、お子さんをたたいたりしたいと思うことがどの程度ありますか。

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. よくある  | 2. まあまあある |
| 3. あまりない | 4. 全くない   |

8. あなたは、お子さんを保育園（所）以外で一緒に遊ばせるグループがあったら、参加する気持ちはありますか。

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 大いにある | 2. まあまあある |
| 3. あまりない | 4. 全くない   |

9. あなたは、子育てが楽しいと思うことがありますか。

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. よくある  | 2. まあまあある |
| 3. あまりない | 4. 全くない   |

10. あなたは、自分ひとりで子育てをしていると思うことがありますか。

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. よくある  | 2. まあまあある |
| 3. あまりない | 4. 全くない   |

11. 子育てについて、御意見等がありましたらどのようなことでも結構です、御記入ください。

御協力ありがとうございました。

# データ集

## 4・5才児 データ集

※選択肢欄の0は無回答 (単位:%)

		選択肢	全 体	4才児	5才児	男 子	女 子	幼稚園	保育園
1. 起床	父親	1	35	34	35	53	35	29	46
		2	1	1	1	1	1	1	0
		3	40	41	40	42	40	46	30
		4	14	14	15	15	14	14	15
		0	10	10	9	8	11	10	8
	母親	1	55	53	57	52	59	46	68
		2	1	1	1	1	1	2	1
		3	41	42	39	44	37	48	30
		4	3	3	2	3	3	4	1
		0	1	0	1	1	0	1	1
2. 洗面	父親	1	13	11	15	11	15	14	10
		2	48	46	50	48	49	48	47
		3	22	24	19	22	20	19	26
		4	13	14	12	15	11	12	14
		0	5	4	5	4	5	5	3
	母親	1	12	10	14	10	14	12	11
		2	63	61	66	62	65	68	57
		3	20	24	15	22	17	16	26
		4	5	5	5	6	4	4	6
		0	1	1	1	0	0	1	1
3. 用意	父親	1	22	20	24	21	24	7	15
		2	29	34	43	40	36	71	37
		3	17	21	12	17	17	18	21
		4	8	11	6	9	7	2	16
		0	14	14	15	13	16	3	12
	母親	1	13	10	17	11	16	16	8
		2	37	36	38	37	37	40	33
		3	30	33	27	30	30	30	30
		4	19	21	17	16	16	13	29
		0	1	1	1	0	0	1	1
4. 片付	父親	1	6	4	8	4	8	7	4
		2	71	68	74	73	69	71	72
		3	18	22	14	18	18	18	18
		4	2	3	2	2	2	2	3
		0	3	3	3	3	3	3	3
	母親	1	6	4	8	4	8	7	4
		2	71	70	73	70	73	69	76
		3	20	23	17	23	17	22	18
		4	2	3	1	2	2	2	2
		0	1	0	1	0	1	1	0
5. 挨拶	父親	1	58	61	55	60	57	57	60
		2	13	13	13	13	13	13	13
		3	19	17	22	19	20	20	18
		4	8	8	9	8	8	9	8
		0	1	1	2	1	1	2	1
	母親	1	65	65	64	65	65	65	65
		2	14	14	14	16	12	14	15
		3	19	18	21	18	21	20	18
		4	2	3	0	3	1	1	2
		0	0	0	1	0	0	1	0

		選択肢	全 体	4才児	5才児	男 子	女 子	幼稚園	保育園
6. 言葉の乱れ	父親	1	18	17	19	19	16	20	15
		2	53	53	52	52	54	51	55
		3	23	23	23	22	25	23	23
		4	5	5	5	6	4	4	6
		0	1	1	2	1	2	2	1
	母親	1	24	22	25	23	24	24	22
		2	66	66	65	67	65	65	67
		3	10	10	9	10	10	10	10
		4	1	1	0	1	1	1	1
		0	1	0	1	0	0	1	1
7. 手伝い	父親	1	8	6	10	9	7	10	4
		2	75	75	75	72	79	73	79
		3	9	11	7	10	6	9	8
		4	6	6	6	7	6	6	8
		0	2	2	2	2	2	2	1
	母親	1	11	9	14	11	11	13	9
		2	80	82	76	77	83	78	83
		3	7	8	6	9	5	8	7
		4	2	2	2	2	1	1	2
		0	0	0	1	0	0	1	0
8. 友の認知	父親	1	10	9	11	12	8	10	11
		2	49	48	49	48	49	52	43
		3	34	35	33	33	35	33	37
		4	6	7	6	6	7	6	7
		0	1	1	1	1	1	0	2
	母親	1	43	38	49	40	46	50	33
		2	50	54	45	52	49	46	57
		3	6	7	5	8	4	3	10
		4	0	0	0	0	0	0	0
		0	1	0	1	0	0	1	0
9. ほめる	父親	1	33	30	36	33	35	37	33
		2	57	59	55	57	56	57	57
		3	9	9	8	9	8	9	9
		4	1	1	0	1	1	0	1
		0	1	1	1	1	1	1	1
	母親	1	39	40	39	39	40	38	41
		2	56	55	57	56	56	57	54
		3	4	5	4	5	3	4	5
		4	0	0	0	0	0	0	0
		0	1	1	1	0	0	1	0
10. 強要	父親	1	23	23	23	24	22	23	23
		2	51	52	51	52	51	51	53
		3	23	22	23	20	25	23	21
		4	2	2	2	2	2	3	1
		0	1	1	1	1	1	1	2
	母親	1	41	39	44	43	40	42	40
		2	48	50	47	47	50	47	51
		3	10	10	8	9	10	10	8
		4	1	1	0	0	1	1	0
		0	1	0	1	1	0	1	1

		選択肢	全 体	4才児	5才児	男 子	女 子	幼稚園	保育園
11. ふれあい	父親	1	25	22	27	23	28	30	19
		2	33	32	33	31	33	34	31
		3	22	23	21	24	19	21	23
		4	11	14	9	13	10	11	12
		5	5	5	6	5	6	3	10
		6	2	2	2	2	2	1	3
		7	1	1	2	1	2	2	1
		0	1	1	1	1	1	1	1
	母親	1	3	4	3	5	2	3	4
		2	15	14	17	15	15	15	16
		3	19	21	17	22	17	19	20
		4	14	14	14	14	14	12	16
		5	17	17	16	17	17	14	20
		6	12	13	11	11	14	10	16
		7	17	15	19	16	17	23	7
	0	3	3	3	1	4	3	2	
12. 対話	父親	1	39	38	39	40	36	37	42
		2	57	56	58	56	56	59	52
		3	4	4	3	3	5	3	5
		4	1	1	0	1	1	0	1
		0	0	0	1	0	0	0	1
	母親	1	42	45	40	42	43	42	42
		2	56	54	58	56	56	56	55
		3	2	2	2	2	2	1	2
		4	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	1	0	0	1	0
13. 叱る	父親	1	36	38	33	40	31	33	41
		2	48	47	50	47	51	51	44
		3	15	13	16	12	17	15	14
		4	1	1	0	1	1	1	0
		0	0	0	1	0	0	0	1
	母親	1	56	57	54	56	56	58	52
		2	40	38	41	39	40	37	44
		3	4	5	4	4	4	5	3
		4	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	1	0	0	1	0
14. スキンシップ	父親	1	41	42	39	38	43	40	43
		2	45	42	48	45	46	46	44
		3	11	12	10	13	9	11	10
		4	3	4	3	5	2	4	3
		0	0	0	1	0	0	0	1
	母親	1	41	43	39	43	40	41	42
		2	44	45	44	43	46	43	46
		3	12	10	14	11	12	12	11
		4	3	3	2	3	2	4	1
		0	0	0	1	0	0	1	0
15. 比較	父親	1	4	5	4	4	4	4	6
		2	23	23	23	24	22	21	26
		3	47	47	47	47	47	47	47
		4	25	25	26	24	26	28	21
		0	1	1	1	0	1	0	1
	母親	1	7	5	8	7	5	6	7
		2	37	38	36	36	37	39	34
		3	45	46	44	44	47	44	47
		4	11	11	12	12	10	10	12
		0	0	0	1	0	0	1	0



		選択肢	全 体	4才児	5才児	男 子	女 子	幼稚園	保育園
16. 性区別	父親	1	10	10	9	11	8	9	11
		2	32	26	38	35	29	33	31
		3	38	42	34	36	42	38	38
		4	18	18	17	17	18	19	16
		0	3	4	2	1	4	2	1
	母親	1	6	5	7	6	6	6	6
		2	29	26	32	30	28	28	31
		3	48	51	43	45	50	49	45
		4	16	16	16	18	14	16	16
		0	2	1	2	1	2	2	2
17. 養育の重点	父親	1	7	8	6	6	6	7	6
		2	22	20	23	21	21	28	20
		3	15	14	16	17	12	14	15
		4	6	5	6	5	6	5	7
		5	9	10	9	11	6	7	11
		6	1	1	1	1	1	2	0
		7	31	28	33	29	34	32	28
		8	6	7	5	6	6	5	8
		9	1	1	1	2	0	1	1
		0	4	6	2	2	6	4	5
	母親	1	9	9	9	8	10	11	6
		2	24	25	23	26	22	3	24
		3	12	12	13	13	13	12	13
		4	5	5	6	5	5	5	6
		5	7	7	6	8	5	5	9
		6	1	0	1	1	0	1	0
		7	39	38	39	37	42	39	39
		8	1	1	0	1	1	1	1
		9	1	1	0	0	0	1	1
		0	3	2	3	2	2	3	2
18. しつけの自信	父親	1	6	6	6	6	6	6	5
		2	42	39	45	40	43	44	37
		3	45	45	45	47	44	44	48
		4	4	5	2	5	3	3	6
		0	3	4	2	2	4	3	4
	母親	1	2	2	2	2	2	2	2
		2	36	34	39	35	38	32	32
		3	56	58	53	58	54	60	60
		4	5	5	4	4	5	4	4
		0	2	1	3	1	2	2	2
19. しつけの甘さ	父親	1	7	8	6	7	7	6	10
		2	55	55	55	51	59	56	53
		3	32	30	33	35	27	33	30
		4	4	3	5	5	3	5	3
		0	3	4	2	1	4	2	4
	母親	1	2	3	2	3	2	2	2
		2	44	46	43	47	41	42	48
		3	48	49	47	47	50	49	46
		4	4	2	6	2	5	5	3
		0	2	1	3	1	2	2	2

		選択肢	全 体	4才児	5才児	男 子	女 子	幼稚園	保育園
20. 養育の不安	父親	1	4	4	3	4	2	4	3
		2	6	6	6	7	5	6	6
		3	30	27	32	30	29	29	30
		4	3	4	2	3	3	3	3
		5	9	10	8	10	8	9	9
		6	11	10	13	13	9	12	9
		7	35	36	33	31	40	36	33
		8	0	0	0	0	0	0	1
		0	3	4	3	2	4	2	6
	母親	1	4	5	4	4	4	4	4
		2	8	7	9	10	6	7	8
		3	25	23	28	24	25	27	22
		4	6	7	4	6	5	5	7
		5	11	13	9	10	13	10	13
		6	18	19	17	19	17	18	17
		7	27	26	27	26	28	27	26
		8	1	0	1	1	0	0	1
		0	2	1	2	1	2	2	2
	21. 不安の解消法	父親	1	21	20	22	19	22	22
2			11	11	11	11	11	11	11
3			3	3	3	3	3	3	3
4			3	4	2	3	2	2	3
5			0	1	0	1	0	0	1
6			1	1	1	1	0	1	1
7			44	43	45	47	40	43	44
8			6	4	7	5	6	7	3
9			5	4	5	4	5	5	4
0			7	10	5	6	9	6	10
母親		1	35	37	33	36	34	33	37
		2	39	40	38	40	39	44	32
		3	2	2	3	2	3	3	2
		4	6	7	5	7	5	4	9
		5	0	0	0	0	0	0	1
		6	1	1	1	1	1	1	1
		7	8	7	9	6	9	6	11
		8	6	4	8	5	8	7	5
		9	0	0	0	0	0	0	0
0	2	2	3	2	3	2	3		
22. 虐待	父親	1	6	6	6	6	5	4	4
		2	30	33	27	33	26	29	29
		3	45	44	47	44	48	47	47
		4	17	16	19	16	19	17	17
		0	2	2	2	2	2	2	2
	母親	1	14	14	15	16	13	15	13
		2	41	42	39	41	41	40	42
		3	37	37	37	34	40	36	37
		4	7	7	8	8	6	7	7
		0	1	1	2	1	0	0	1
23. 電話相談機関	父親	1	2	2	2	2	2	2	1
		2	91	90	92	90	93	91	92
		3	5	5	4	6	4	5	4
		0	2	2	2	3	2	2	3
	母親	1	2	1	3	2	1	2	2
		2	74	75	73	74	75	74	75
		3	17	18	17	16	18	17	18
0	7	6	7	8	6	7	6		

		選択肢	全 体	4才児	5才児	男 子	女 子	幼稚園	保育園
24. 叱り方	父親	1	71	71	72	71	72	72	71
		2	23	23	22	25	21	21	25
		3	3	2	3	2	3	3	2
		4	1	1	1	0	1	1	0
		0	3	3	3	3	3	3	2
	母親	1	83	80	86	82	83	85	79
		2	15	18	12	16	14	13	18
		3	1	2	1	1	2	1	2
		4	0	0	0	0	0	0	0
		0	2	1	2	1	1	2	1
25. テレビ視聴時間	父親	1	6	8	3	6	6	4	4
		2	33	30	36	31	34	32	32
		3	41	40	42	44	39	44	44
		4	10	11	9	11	10	9	9
		5	4	4	3	3	5	3	3
		6	1	1	1	1	1	1	1
		7	1	1	1	1	1	1	1
		0	5	5	5	4	6	6	6
	母親	1	6	7	6	6	6	7	6
		2	33	34	33	33	34	31	37
		3	45	43	48	47	44	47	42
		4	9	10	8	8	10	10	8
		5	4	4	3	4	4	3	4
		6	1	1	1	0	2	1	1
		7	0	0	0	0	0	0	0
		0	1	1	2	2	0	1	1
		26. 習い事	父親	1	56	64	47	60	51
2	29			24	32	28	28	33	21
3	10			7	12	5	15	11	6
4	3			1	6	4	3	4	1
0	3			3	3	3	3	4	2
母親	1		56	66	44	60	52	47	69
	2		29	24	35	28	31	34	22
	3		10	7	13	6	13	12	7
	4		4	2	6	4	4	6	1
	0		2	2	2	3	0	2	2
27. 子ども同士の交流	父親	1	24	24	24	24	25	24	24
		2	44	41	46	47	40	43	45
		3	23	24	22	20	27	24	22
		4	6	6	6	6	6	6	6
		0	3	4	2	3	3	3	3
	母親	1	22	20	25	24	20	24	20
		2	41	44	37	40	42	38	44
		3	30	29	30	28	32	30	30
		4	6	6	7	7	6	7	6
		0	1	1	2	1	0	1	1
28. 楽しい子育て	父親	1	30	28	32	31	28	30	31
		2	56	58	54	54	59	56	56
		3	10	10	10	10	10	10	10
		4	2	1	2	2	1	2	1
		0	2	3	2	2	2	3	1
	母親	1	34	35	33	32	35	33	35
		2	54	54	55	55	54	54	54
		3	10	11	10	11	10	11	9
		4	1	1	1	1	1	1	1
		0	1	1	1	1	0	1	1

		選択肢	全 体	4才児	5才児	男 子	女 子	幼稚園	保育園
29. 孤立	父親	1	1	2	1	2	0	1	2
		2	2	2	2	2	2	1	4
		3	27	26	28	27	25	27	27
		4	68	68	67	66	70	69	66
		0	2	2	2	3	2	3	1
	母親	1	13	14	13	13	13	14	12
		2	27	28	27	27	27	28	27
		3	39	39	38	39	40	38	40
		4	20	19	20	20	20	19	20
		0	1	1	1	1	0	1	1

# 3才児 データ集

※選択肢欄の0は無回答 (単位:%)

		選択肢	全 体	男 子	女 子	幼稚園	保育園
1. 起床	父親	1	36	35	39	24	43
		2	0	1	0	0	1
		3	40	45	35	52	34
		4	14	10	18	14	14
		0	9	10	8	10	9
	母親	1	56	51	51	38	64
		2	1	1	1	0	1
		3	41	47	47	57	33
		4	3	2	2	5	2
		0	0	0	0	0	0
2. 洗面	父親	1	5	6	4	7	4
		2	44	42	46	44	44
		3	31	34	28	31	32
		4	15	12	19	14	15
		0	4	5	3	4	5
	母親	1	4	5	3	5	4
		2	44	41	47	52	41
		3	45	45	43	40	47
		4	6	6	6	2	8
		0	1	1	1	1	0
3. 用意	父親	1	13	12	14	15	12
		2	27	27	28	31	26
		3	27	29	26	31	26
		4	19	17	19	10	23
		0	14	15	12	14	14
	母親	1	3	1	5	9	1
		2	24	26	22	24	23
		3	37	36	39	43	35
		4	35	37	33	24	41
		0	0	0	1	0	0
4. 片付	父親	1	3	1	5	2	3
		2	59	60	59	55	61
		3	30	31	28	35	26
		4	6	5	7	5	6
		0	3	4	2	2	3
	母親	1	3	1	5	9	1
		2	59	26	22	24	23
		3	34	36	39	43	35
		4	4	37	33	24	41
		0	0	0	1	0	0
5. 挨拶	父親	1	52	51	5	2	3
		2	37	17	59	55	61
		3	23	26	28	35	26
		4	6	5	7	5	6
		0	1	1	2	2	3
	母親	1	57	59	55	51	59
		2	6	14	20	18	16
		3	25	27	23	30	23
		4	14	1	2	2	1
		0	0	0	0	0	0

		選択肢	全 体	男 子	女 子	幼稚園	保育園
6. 言葉の乱れ	父親	1	13	14	12	11	14
		2	59	54	65	65	55
		3	23	24	18	20	24
		4	6	7	4	3	7
		0	1	1	1	1	1
	母親	1	22	21	22	22	22
		2	62	63	61	63	62
		3	15	15	16	16	15
		4	1	1	1	0	1
		0	0	0	0	0	0
7. 手伝い	父親	1	5	6	3	5	5
		2	68	68	70	68	68
		3	17	16	19	18	18
		4	8	8	8	8	8
		0	2	2	2	1	1
	母親	1	8	7	8	9	7
		2	76	76	77	77	76
		3	12	12	12	12	12
		4	4	4	3	2	4
		0	0	1	0	0	0
8. 友の認知	父親	1	8	8	8	12	6
		2	39	41	37	34	41
		3	42	38	46	47	39
		4	11	13	10	6	14
		0	0	0	0	1	0
	母親	1	30	26	32	37	27
		2	58	61	55	52	60
		3	12	13	11	11	12
		4	1	1	1	0	1
		0	0	0	0	0	0
9. ほめる	父親	1	41	41	41	40	42
		2	53	53	52	54	52
		3	5	6	5	5	6
		4	0	0	1	1	0
		0	1	0	1	1	1
	母親	1	47	44	50	48	46
		2	50	53	47	49	50
		3	3	1	4	3	2
		4	0	0	0	0	0
		0	1	1	0	0	1
10. 強要	父親	1	27	29	26	17	33
		2	46	44	50	54	42
		3	24	25	23	27	22
		4	2	3	1	1	3
		0	0	0	0	1	0
	母親	1	39	39	39	39	40
		2	49	48	52	54	47
		3	11	13	9	7	12
		4	0	0	0	0	0
		0	1	1	1	0	1

		選択肢	全 体	男 子	女 子	幼稚園	保育園
11. ふれあい	父親	1	21	20	21	24	19
		2	27	31	24	28	27
		3	25	20	30	26	24
		4	14	19	10	12	16
		5	8	5	10	5	9
		6	3	2	3	1	3
		7	2	2	2	2	2
		0	1	0	1	2	0
	母親	1	3	3	2	2	3
		2	10	9	11	9	11
		3	18	20	17	19	18
		4	13	11	16	11	14
		5	18	17	18	13	20
		6	21	24	9	19	22
		7	17	15	19	26	12
	0	0	1	0	0	0	
12. 対話	父親	1	45	43	48	46	44
		2	51	52	49	49	51
		3	4	5	3	5	4
		4	0	0	1	0	1
		0	0	0	0	1	0
	母親	1	51	54	49	51	51
		2	48	46	51	48	48
		3	1	1	1	1	0
		4	0	0	0	0	0
		0	0	0	1	0	0
13. 叱る	父親	1	39	41	36	33	42
		2	46	47	47	53	43
		3	14	12	16	12	14
		4	1	1	1	1	1
		0	0	0	0	1	0
	母親	1	56	58	53	47	59
		2	41	40	43	50	38
		3	3	2	3	3	3
		4	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
14. スキンシップ	父親	1	43	38	49	41	45
		2	46	52	40	47	46
		3	7	8	7	10	6
		4	3	2	4	2	4
		0	0	0	0	1	0
	母親	1	52	53	50	47	54
		2	40	40	40	43	38
		3	8	6	10	9	8
		4	1	1	1	1	0
		0	0	0	0	0	0
15. 比較	父親	1	4	6	3	3	5
		2	21	20	21	19	11
		3	48	44	54	54	45
		4	26	30	22	23	27
		0	1	0	1	1	1
	母親	1	5	6	4	4	6
		2	36	35	36	47	30
		3	45	44	47	40	47
		4	14	15	12	9	17
	0	0	0	0	0	0	

		選択肢	全 体	男 子	女 子	幼稚園	保育園
16. 性区別	父親	1	9	10	8	7	10
		2	28	33	23	29	27
		3	41	38	45	41	41
		4	19	17	22	21	18
		0	3	3	2	3	3
	母親	1	6	8	4	2	8
		2	26	25	27	29	25
		3	49	47	51	53	47
		4	18	19	18	16	20
		0	1	2	1	1	1
17. 養育の重点	父親	1	4	6	3	4	5
		2	23	22	25	23	23
		3	10	12	8	11	10
		4	8	9	7	9	8
		5	10	11	10	14	9
		6	0	0	0	0	0
		7	36	37	41	32	39
		8	4	4	4	3	5
		9	1	1	0	1	1
		0	3	3	2	4	2
	母親	1	9	10	8	8	9
		2	26	23	29	28	24
		3	8	11	4	7	8
		4	5	8	2	2	6
		5	9	10	8	13	7
		6	1	0	2	1	1
		7	39	36	43	38	40
		8	2	1	3	1	2
		9	0	1	0	1	0
		0	2	2	2	2	2
18. しつけの自信	父親	1	4	4	4	3	5
		2	44	46	43	51	40
		3	43	41	46	40	45
		4	5	6	4	3	7
		0	3	2	3	4	3
	母親	1	1	1	2	2	1
		2	30	35	24	31	29
		3	62	57	67	62	62
		4	5	5	6	4	6
		0	1	2	1	1	2
19. しつけの甘さ	父親	1	8	5	5	5	9
		2	56	57	57	58	55
		3	29	30	30	31	28
		4	4	5	5	4	5
		0	3	3	3	3	3
	母親	1	2	2	2	1	3
		2	50	53	48	49	51
		3	43	40	47	46	42
		4	3	3	3	4	3
		0	1	2	1	1	1



		選択肢	全 体	男 子	女 子	幼稚園	保育園
20. 養育の不安	父親	1	5	6	4	3	7
		2	7	8	5	1	10
		3	23	22	24	21	24
		4	3	3	3	5	2
		5	9	9	8	11	7
		6	17	17	17	21	15
		7	33	31	35	35	31
		8	0	0	0	0	0
		0	4	4	3	5	4
		0	1	2	1	1	2
	母親	1	6	5	7	7	5
		2	5	8	3	2	7
		3	20	19	22	18	21
		4	6	4	6	9	4
		5	18	16	19	18	18
		6	21	27	20	22	21
		7	23	24	23	24	23
		8	0	0	0	0	0
		0	1	2	1	1	2
21. 不安の解消法	父親	1	23	27	27	28	29
		2	20	15	12	18	13
		3	4	4	6	2	4
		4	3	3	3	3	3
		5	0	0	0	0	0
		6	1	1	2	0	1
		7	28	33	29	36	35
		8	8	5	8	2	3
		9	5	4	5	3	3
		0	10	9	10	8	9
	母親	1	39	40	39	41	39
		2	33	33	33	40	30
		3	1	1	1	1	1
		4	11	13	10	6	14
		5	0	0	2	1	0
		6	1	0	10	6	1
		7	8	6	4	4	9
		8	4	4	1	0	5
		9	0	0	0	0	0
		0	2	3	1	1	2
22. 虐待	父親	1	6	8	4	3	8
		2	31	28	34	32	30
		3	42	42	43	43	42
		4	18	19	17	18	18
		0	3	3	2	4	2
	母親	1	12	12	12	16	10
		2	45	46	44	44	46
		3	35	33	37	34	35
		4	5	6	5	5	6
		0	3	3	3	2	3
23. 電話相談機関	父親	1	90	90	92	91	91
		2	3	3	2	4	2
		3	4	5	3	3	4
		0	3	2	3	3	3
	母親	1	77	75	79	79	76
		2	14	16	11	16	13
		3	6	6	6	3	7
		0	3	3	3	2	4

		選択肢	全 体	男 子	女 子	幼稚園	保育園		
24. 叱り方	父親	1	66	66	66	67	65		
		2	26	24	28	28	26		
		3	3	4	2	3	3		
		4	1	1	1	0	2		
		0	4	4	3	3	4		
	母親	1	78	77	79	81	77		
		2	17	17	18	16	18		
		3	2	3	1	2	2		
		4	0	0	0	0	0		
		0	3	3	2	1	3		
25. テレビ視聴時間	父親	1	11	15	15	10	12		
		2	31	30	30	29	32		
		3	41	37	37	42	40		
		4	8	8	8	11	6		
		5	3	3	3	2	3		
		6	1	1	1	0	1		
		7	0	0	0	0	0		
		0	6	6	6	6	5		
	母親	1	8	8	8	9	8		
		2	32	33	32	26	35		
		3	43	45	41	46	42		
		4	9	7	12	14	7		
		5	3	3	4	5	3		
		6	1	1	1	1	1		
		7	0	0	0	0	0		
		0	3	3	3	1	4		
		26. 習い事	父親	1	76	79	74	67	81
				2	17	14	20	23	14
3	3			4	3	6	2		
4	0			0	0	0	0		
0	4			4	3	4	3		
母親	1		76	78	74	65	82		
	2		17	14	19	26	13		
	3		3	4	3	5	1		
	4		1	0	1	2	0		
	0		3	4	3	2	4		
27. 子ども同士の交流	父親	1	23	23	23	29	20		
		2	43	41	46	42	44		
		3	25	25	24	21	26		
		4	5	6	5	5	5		
		0	4	5	2	3	4		
	母親	1	22	22	22	23	22		
		2	43	47	40	47	42		
		3	27	24	31	29	27		
		4	5	4	5	2	6		
		0	2	2	2	1	3		
28. 楽しい子育て	父親	1	33	34	31	36	36		
		2	53	51	67	50	50		
		3	11	13	10	11	11		
		4	0	0	1	1	1		
		0	3	2	2	2	2		
	母親	1	32	32	31	26	35		
		2	55	56	54	64	51		
		3	11	9	12	10	11		
		4	1	1	1	0	1		
		0	2	2	3	1	3		

		選択肢	全 体	男 子	女 子	幼稚園	保育園
29. 孤立	父親	1	0	0	0	0	0
		2	2	3	1	3	2
		3	28	26	30	24	29
		4	68	68	67	70	68
		0	3	3	2	3	3
	母親	1	16	17	14	18	15
		2	25	25	25	28	24
		3	37	36	38	34	38
		4	21	20	21	19	21
		0	2	2	2	1	3

# 0・1・2才児 データ集

※選択肢欄の0は無回答 (単位:%)

		選択肢	全 体	0才児	1才児	2才児	男 子	女 子	
1. ほめる	父親	1	46	60	42	41	50	42	
		2	49	37	53	52	43	55	
		3	5	3	3	7	6	3	
		4	1	0	2	0	1	0	
		0	0	0	0	0	0	0	
	母親	1	62	58	70	53	66	60	
		2	49	36	27	47	33	36	
		3	5	3	2	0	1	2	
		4	1	0	0	0	0	0	
		0	0	3	0	0	0	1	
2. ふれあい	父親	1	15	20	11	17	20	8	
		2	28	30	26	29	21	36	
		3	27	20	31	26	26	27	
		4	12	13	11	12	13	11	
		5	10	13	11	7	10	11	
		6	7	3	7	10	9	5	
		7	2	0	3	0	1	2	
		0	0	0	0	0	0	0	
		母親	1	1	0	1	2	1	2
	2		9	8	8	11	11	8	
	3		13	6	12	21	13	14	
	4		16	25	18	8	12	20	
	5		24	22	25	25	21	27	
	6		20	19	21	17	25	15	
	7		16	19	14	17	18	15	
	0		0	0	0	0	0	0	
	3. スキンシップ		父親	1	47	57	42	48	56
		2		43	40	50	36	33	53
3		8		3	8	12	10	7	
4		2		0	0	5	1	2	
0		0		0	0	0	0	0	
母親		1	59	67	62	49	64	55	
		2	38	31	36	45	33	41	
		3	4	3	2	6	2	5	
		4	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	
4. 電話相談機関	父親	1	90	90	90	90	89	90	
		2	5	7	5	7	6	5	
		3	5	3	5	3	6	5	
		0	0	0	0	0	0	0	
	母親	1	71	69	74	69	70	72	
		2	20	25	18	25	20	19	
		3	9	6	8	6	10	9	
		0	0	0	0	0	0	0	
5. 叱る	父親	1	25	13	31	33	27	23	
		2	46	37	60	45	49	42	
		3	25	37	10	21	21	31	
		4	4	13	0	0	3	5	
		0	0	0	0	0	0	0	
	母親	1	32	6	26	53	38	27	
		2	51	50	50	38	48	53	
		3	16	39	23	9	14	17	
		4	1	6	0	0	0	2	
		0	0	0	0	0	0	0	

		選択肢	全 体	0才児	1才児	2才児	男 子	女 子
6. テレビ視聴時間	父親	1	28	67	19	14	27	31
		2	34	23	36	38	39	29
		3	25	7	31	31	27	23
		4	5	0	7	7	1	10
		5	3	3	2	5	3	3
		6	2	0	0	5	3	0
		7	0	0	0	0	0	0
		0	3	0	7	0	0	5
	母親	1	23	58	13	15	20	26
		2	40	33	46	34	41	40
		3	24	6	25	34	26	22
		4	7	0	10	8	6	8
		5	5	3	2	9	6	3
		6	1	0	1	0	1	0
		7	0	0	0	0	0	0
		0	1	0	2	0	0	1
7. 虐待	父親	1	4	0	8	10	7	0
		2	28	20	38	29	33	24
		3	44	40	42	48	41	47
		4	22	40	10	14	19	26
		0	2	0	2	0	0	3
	母親	1	8	3	2	11	12	5
		2	40	28	32	51	41	40
		3	41	47	44	34	38	43
		4	10	22	19	1	10	11
		0	1	0	3	0	0	1
8. 子ども同士の交流	父親	1	15	10	13	21	7	18
		2	45	43	47	43	33	36
		3	30	47	23	29	41	37
		4	8	0	13	7	19	7
		0	2	0	5	0	0	3
	母親	1	20	22	17	25	27	14
		2	44	39	48	42	41	48
		3	31	33	30	32	29	34
		4	4	6	4	2	4	3
		0	1	0	2	0	0	1
9. 楽しい子育て	父親	1	34	43	27	38	36	32
		2	52	47	55	50	47	55
		3	13	10	15	12	16	10
		4	1	0	0	2	1	0
		0	2	0	3	0	0	3
	母親	1	43	56	41	40	42	46
		2	45	33	49	45	48	42
		3	10	11	6	15	10	10
		4	1	0	2	0	1	1
		0	1	0	2	0	0	1
10. 孤立	父親	1	2	0	3	2	3	2
		2	4	0	5	5	6	2
		3	28	23	31	26	24	32
		4	64	77	57	67	66	61
		0	2	0	5	0	1	3
	母親	1	14	14	14	13	16	13
		2	20	28	17	17	18	23
		3	42	36	43	43	43	41
		4	24	22	23	26	25	23
		0	1	0	2	0	0	1

## 平成12年度家庭教育充実事業

### 調査研究部会委員

氏名	所属・職名	備考
井上 豊久	福岡教育大学・助教授	部会長
吉川 昌子	中村学園短期大学部幼児教育科・講師	
榎本 淑子	篠栗町立篠栗幼稚園・主任	
下田 和子	県教育センター教育指導部・専門研修員	
久原 寛	県教育庁生涯学習課・主任社会教育主事	